

# 地方創生に関する市民アンケート調査

## 報告書

平成 27 年 8 月

水 戸 市

## 目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の設計	2
3 調査の内容	2
4 回収結果	2
5 集計に当たって	7
II 調査結果の分析	9
1 人口減少に対する意識	10
1-1 水戸市の人口推計結果に関する知識	10
1-2 人口減少に対する考え方	12
1-3 人口減少によって不安に感じる事(複数回答)	14
1-4 人口減少によって特に不安に感じる事	16
1-5 水戸市が取り組むべき事	18
2 人口減少への具体的な対応策	20
2-1 産業振興のために取り組むべき事	20
2-2 転出等による人口減への対策	22
2-3 少子化対策	24
2-4 安全安心に暮らせる地域づくりへの取組	26
2-5 高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組	28
2-6 子供たちの郷土愛を育む取組	30
2-7 地域の活性化やにぎわい創出のための取組	32
3 自由意見	34
3-1 水戸市のこれからのまちづくりに対するご意見・ご提言	34
III 分析結果のまとめ	39
資料編	41

# I 調査の概要



## 1 調査の目的

「水戸市人口ビジョン」及び「水戸市総合戦略」の策定にあたり、市民の人口減少に対する意識や人口減少に対する具体的な対応策についての考え方を把握し、これらを踏まえた検討・戦略立案を進めていくことを目的に、本アンケートを実施する。

## 2 調査の設計

- (1) 調査対象 水戸市民（市内の大学に通学する学生を含む）
- (2) 調査方法・標本数 ①「いばらき電子申請・届出サービス」のアンケート機能を利用した web アンケート調査（212 件）  
②アンケート用紙を市施設及び茨城大学・常磐大学に設置し回収するアンケート方式（73 件）
- (3) 調査期間 平成 27 年 6 月 15 日～7 月 14 日

## 3 調査の内容

- (1) 人口減少に対する意識
  - ・水戸市の人口推計結果に関する知識（問 1）
  - ・人口減少に対する考え方（問 2）
  - ・人口減少によって不安に感じる事（問 3）
  - ・人口減少によって特に不安に感じる事（問 4）
  - ・水戸市が取り組むべき事（問 5）
- (2) 人口減少への具体的な対応策
  - ・産業振興のために取り組むべき事（問 6）
  - ・転出等による人口減への対策（問 7）
  - ・少子化対策（問 8）
  - ・安全安心に暮らせる地域づくりへの取組（問 9）
  - ・高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組（問 10）
  - ・子供たちの郷土愛を育む取組（問 11）
  - ・地域の活性化やにぎわい創出のための取組（問 12）
- (3) 自由意見
  - ・水戸市のこれからのまちづくりに対するご意見・ご提言

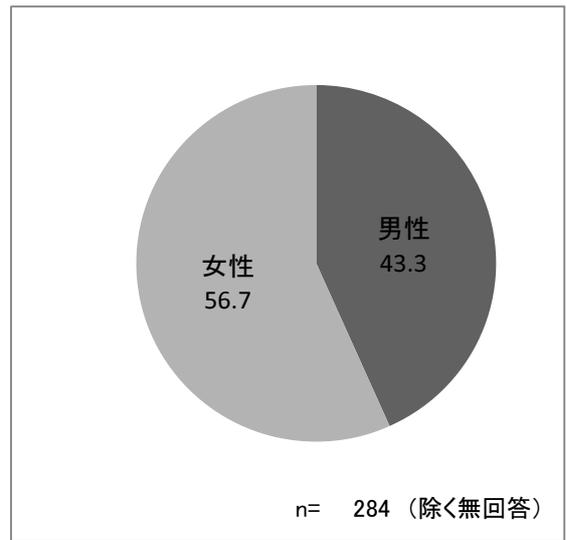
## 4 回収結果

- (1) 全体の回収結果  
285 件（うち web アンケート分 212 件，施設配布回収分 73 件）

(2) 属性別回収結果

①性別

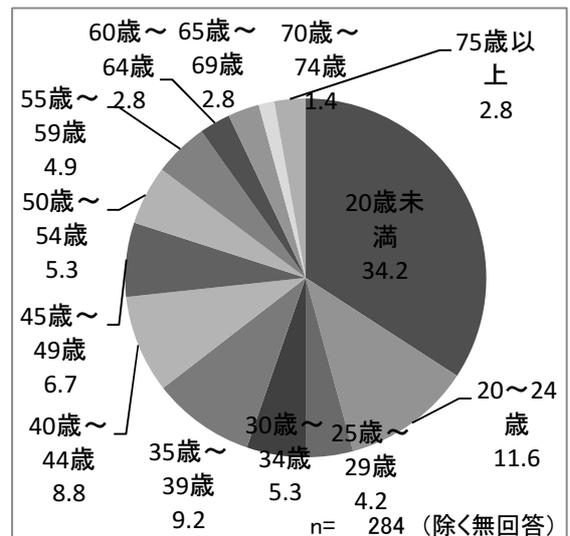
	実数(人)	構成比(%)
男性	123	43.3
女性	161	56.7
小計	284	100.0
無回答・不明	1	
合計	285	



②年齢別

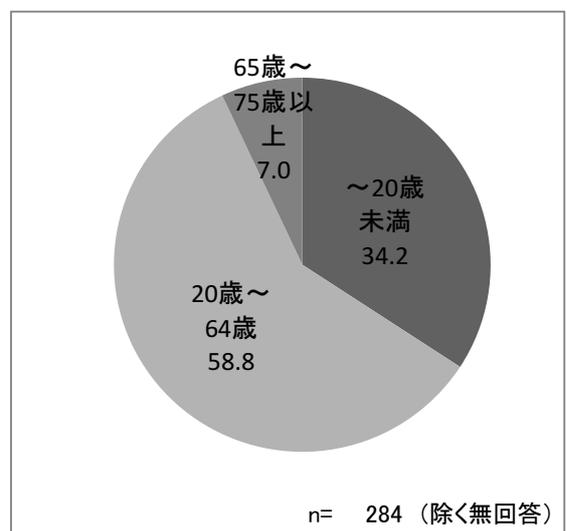
(5歳階級別)

	実数(人)	構成比(%)
20歳未満	97	34.2
20~24歳	33	11.6
25歳~29歳	12	4.2
30歳~34歳	15	5.3
35歳~39歳	26	9.2
40歳~44歳	25	8.8
45歳~49歳	19	6.7
50歳~54歳	15	5.3
55歳~59歳	14	4.9
60歳~64歳	8	2.8
65歳~69歳	8	2.8
70歳~74歳	4	1.4
75歳以上	8	2.8
小計	284	4.2
無回答・不明	1	
合計	285	



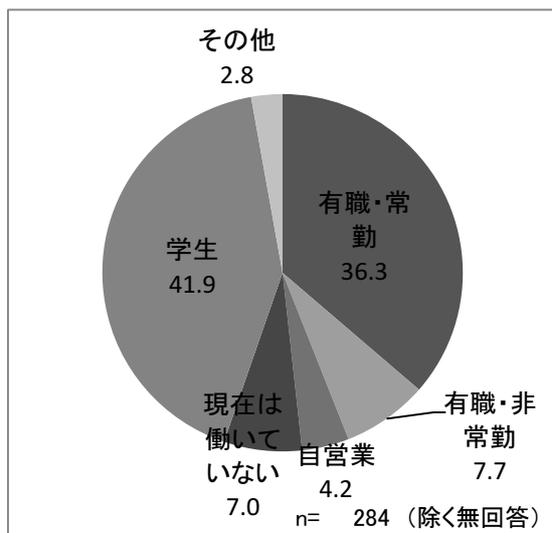
(3区分)

	実数(人)	構成比(%)
~20歳未満	97	34.2
20歳~64歳	167	58.8
65歳~75歳以上	20	7.0
小計	284	65.8
無回答・不明	1	
合計	285	



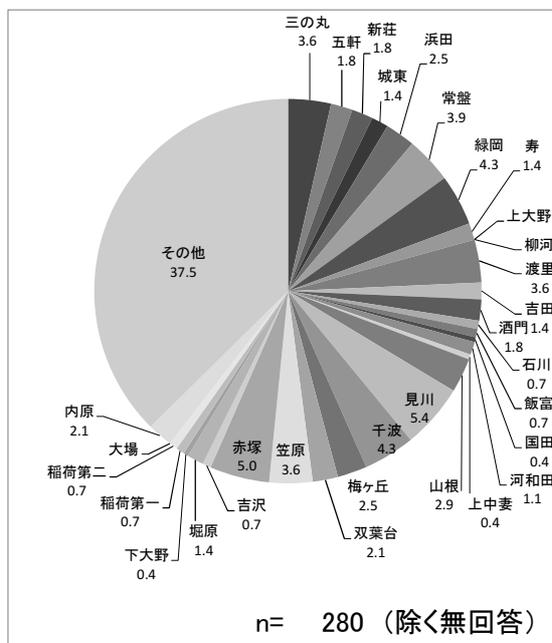
### ③職業別

	実数(人)	構成比(%)
有職・常勤	103	36.3
有職・非常勤	22	7.7
自営業	12	4.2
現在は働いていない	20	7.0
学生	119	41.9
その他	8	2.8
小計	284	44.7
無回答・不明	1	
合計	285	



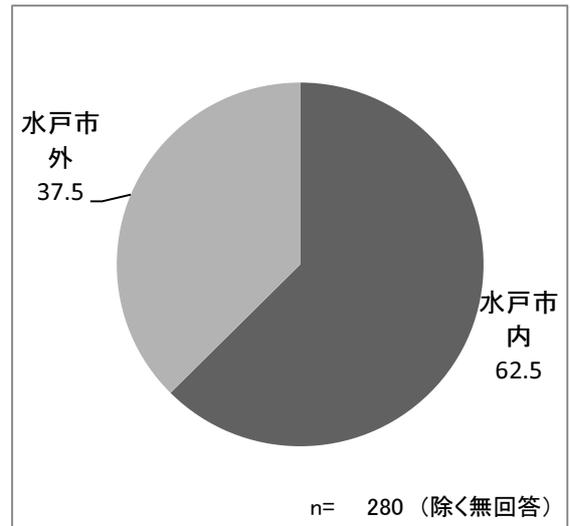
### ④居住地別 (小学校区別)

	実数(人)	構成比(%)
三の丸	10	3.6
五軒	5	1.8
新莊	5	1.8
城東	4	1.4
浜田	7	2.5
常盤	11	3.9
緑岡	12	4.3
寿	4	1.4
上大野	0	0.0
柳河	0	0.0
渡里	10	3.6
吉田	4	1.4
酒門	5	1.8
石川	2	0.7
飯富	2	0.7
国田	1	0.4
河和田	3	1.1
上中妻	1	0.4
山根	8	2.9
見川	15	5.4
千波	12	4.3
梅ヶ丘	7	2.5
双葉台	6	2.1
笠原	10	3.6
赤塚	14	5.0
吉沢	2	0.7
堀原	4	1.4
下大野	1	0.4
稲荷第一	2	0.7
稲荷第二	2	0.7
大場	0	0.0
内原	6	2.1
その他	105	37.5
小計	280	39.6
無回答・不明	5	
合計	285	



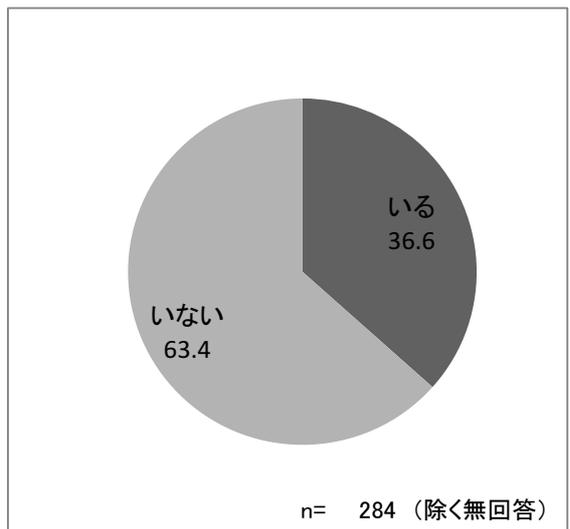
(市内・市外別)

	実数(人)	構成比(%)
水戸市内	175	62.5
水戸市外	105	37.5
小計	280	100.0
無回答・不明	5	
合計	285	



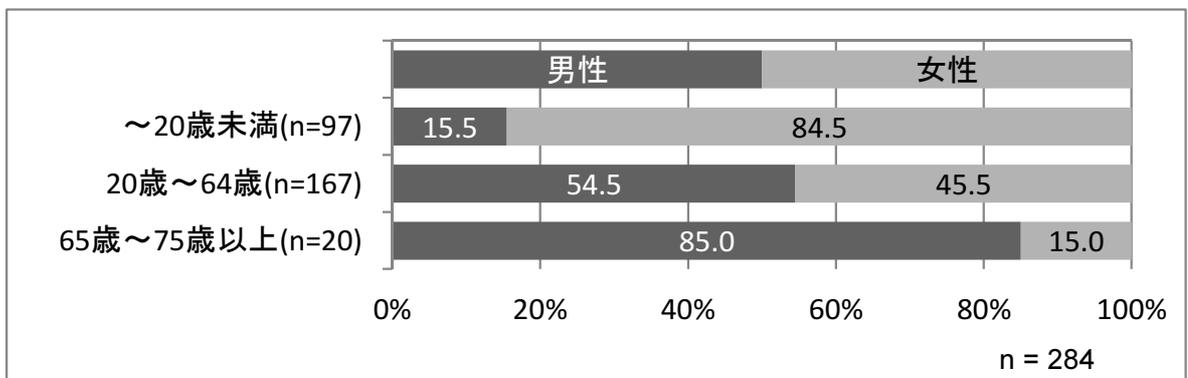
⑤子どもの有無別

	実数(人)	構成比(%)
いる	104	36.6
いない	180	63.4
小計	284	100.0
無回答・不明	1	
合計	285	

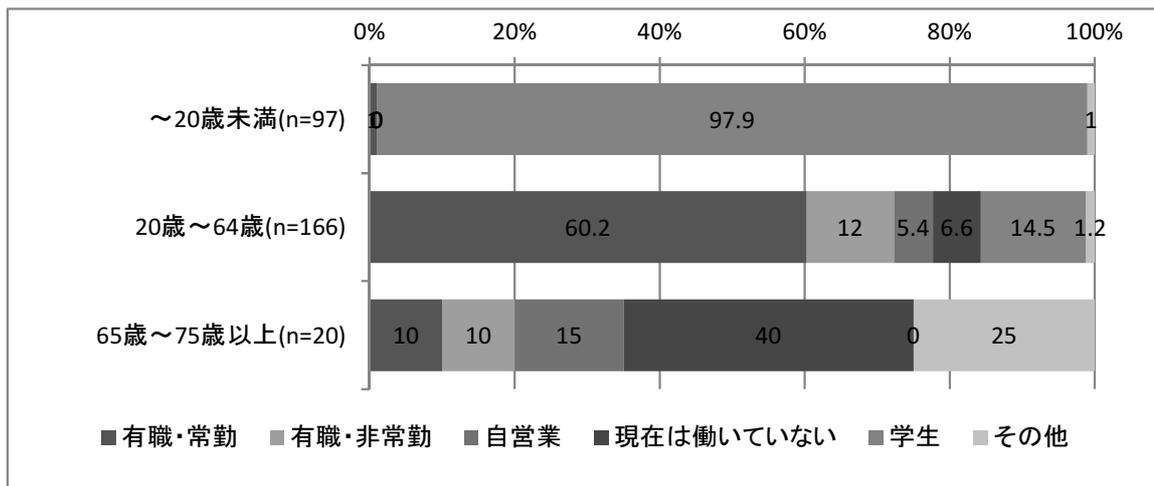


	実数(人)	構成比(%)
いる(1人)	35	12.3
いる(2人)	46	16.1
いる(3人)	22	7.7
いる(4人以上)	2	0.7
いない	180	63.2
小計	285	100.0
無回答・不明	0	
合計	285	

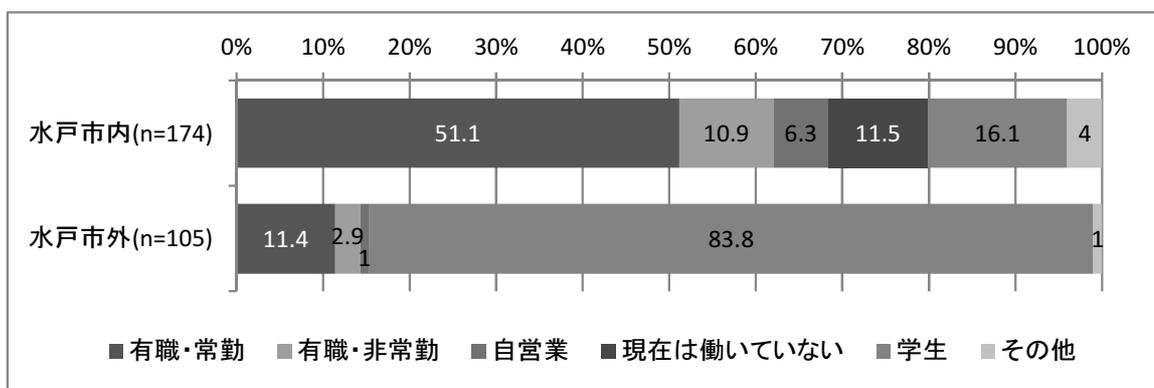
⑤性別×年齢別



⑥年齢別×職業別



⑦職業別×地区別



【属性の特徴】

本アンケートのサンプルの特徴は、大学生が全体の4割を占めていることである。学生のうち約8割は女性であり、また、学生のうち約8割が水戸市外に居住している。したがって、アンケート結果には、「市外在住の女子大生」の意向が強く反映することが想定される。

全体としての男女比は、男性が43%で女性が57%と女性の方が多い。年齢別では、20歳以下が34%（ほぼ全て学生）、20～64歳が59%、65歳以上が7%となっており、一般的な市民アンケートよりも若年層に偏ったサンプルと言える。

居住地別では、62.5%が水戸市内居住者となっているが、その内訳（小学校区別）をみると地区に大きな偏りはみられない。

子どもの有無別では、37%が「子どもがいる」、63%が「いない」となっている。

## 5 集計に当たって

- (1) 「n」(number of cases の略) は比率算出の基数であり, 100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 質問の種類を示す記号として「M.A.」(Multiple Answer の略) として記入してあるのは, 1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問である。このときの回答の計は, 回答者数(100%)を超える。
- (3) すべての質問において, 単純集計とクロス集計(性別, 年齢別, 職業別, 居住地別, 子どもの有無別)を実施したが, 質問によってはサンプル数が少なく, 統計的な精度が低いものも含まれている。
- (4) 表中, 「/」は, 2つ以上の回答が同率であることを示している。
- (5) 図表及び文章中, 選択肢を一部省略している。  
※各質問の回答選択肢の数値の単位は%とする。



## Ⅱ 調査結果の分析

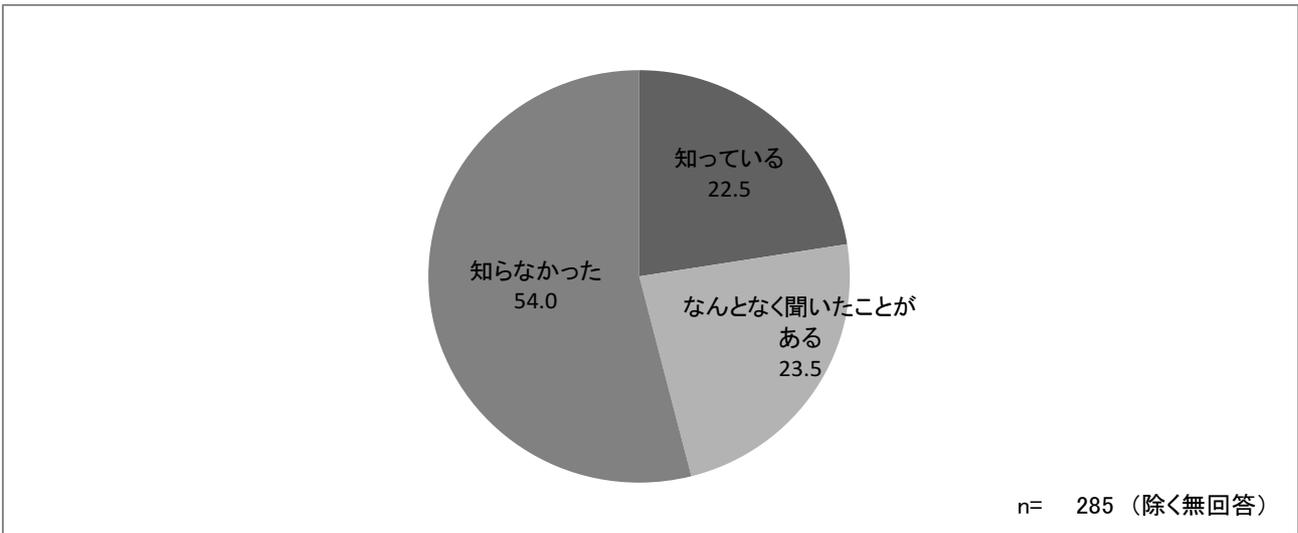


# 1 人口減少に対する意識

## 1-1 水戸市の人口推計結果に関する知識

問1：水戸市の人口は、現在 272,516 人（H27.4.1 現在）ですが、2040 年（平成 52 年）には、244,344 人に減少すると国立社会保障・人口問題研究所での推計結果が公表されています。あなたは、この推計結果を知っていましたか。次の中から 1 つだけ選んでください。

【単純集計】（S.A.）



【クロス集計】（S.A.）

上段:度数 下段:%		2-1 推計結果を知っていますか			合計
		知っている	なんとなく聞いたことがある	知らなかった	
性別	男性	44 35.8	38 30.9	41 33.3	123 100.0
	女性	19 11.8	29 18.0	113 70.2	161 100.0
	全体	63 22.2	67 23.6	154 54.2	284 100.0

上段:度数 下段:%		2-1 推計結果を知っていますか			合計
		知っている	なんとなく聞いたことがある	知らなかった	
年齢	～20歳未満	3 3.1	12 12.4	82 84.5	97 100.0
	20歳～64歳	47 28.1	49 29.3	71 42.5	167 100.0
	65歳～75歳以上	13 65.0	6 30.0	1 5.0	20 100.0
	全体	63 22.2	67 23.6	154 54.2	284 100.0

上段:度数 下段:%		2-1 推計結果を知っていますか			合計
		知っている	なんとなく聞いたことがある	知らなかった	
地区	水戸市内	54 30.9	50 28.6	71 40.6	175 100.0
	水戸市外	10 9.5	17 16.2	78 74.3	105 100.0
	全体	64 22.9	67 23.9	149 53.2	280 100.0

上段:度数 下段:%		2-1 推計結果を知っていますか			合計
		知っている	なんとなく聞いたことがある	知らなかった	
子どもの有無	いる	40 38.5	37 35.6	27 26.0	104 100.0
	いない	24 13.3	30 16.7	126 70.0	180 100.0
		64	67	153	284
	全体	22.5	23.6	53.9	100.0

水戸市の人口が減るという推計結果について、「知らなかった」という人が最も多く全体の 54% を占めている。次いで「なんとなく聞いたことがある」が 23.5%、「知っている」の 22.5%となっている。

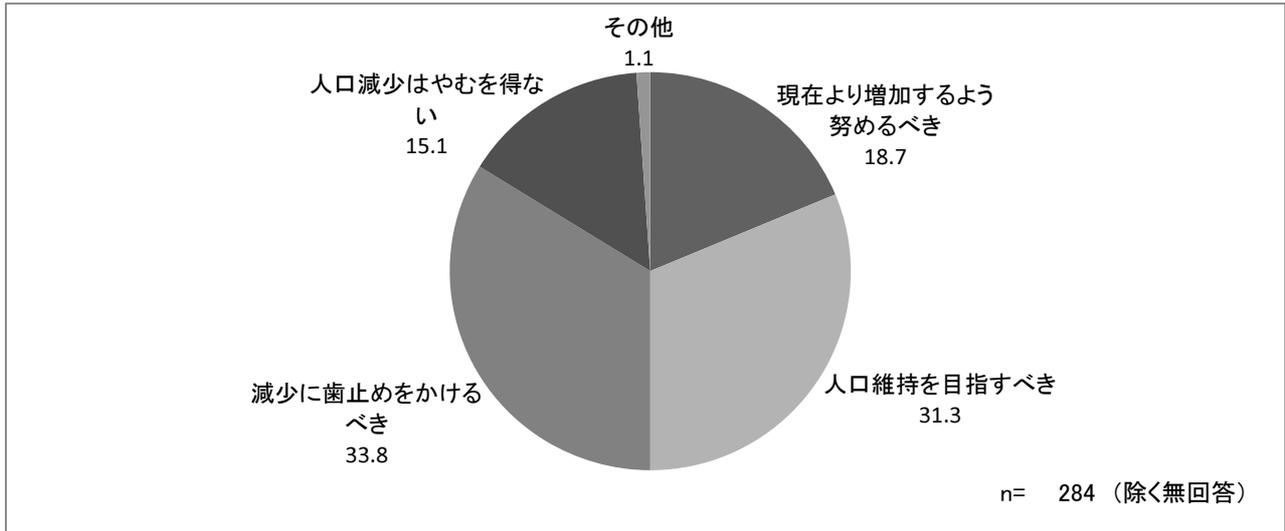
クロス集計をみると、「市外」在住者、「若年層」,「女性」のカテゴリーで認知度が低く,「知らなかった」の割合を押し上げていることがわかる。

一方,(大学生を概ね排除することができる分類である)「子どもがいる」層においては,「知っている」が 38.5%で次いで「なんとなく聞いたことがある」が 35.6%、「知らなかった」が 26%となっており,知っている人の方が多いという結果になっている。

## 1-2 人口減少に対する考え方

問2：水戸市の人口が将来的に減少していくことについて、あなたの考えに最も近いものは何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

【単純集計】(S.A.)



【クロス集計】(S.A.)

上段:度数		2-2 人口減少について考えに近いもの					合計
下段:%		現在より増加するよう努めるべき	人口維持を目指すべき	減少に歯止めをかけるべき	人口減少はやむを得ない	その他	
性別	男性	32	30	34	24	3	123
		26.0	24.4	27.6	19.5	2.4	100.0
	女性	21	58	62	19	-	160
		13.1	36.3	38.8	11.9	-	100.0
	全体	53	88	96	43	3	283
		18.7	31.1	33.9	15.2	1.1	100.0

上段:度数		2-2 人口減少について考えに近いもの					合計
下段:%		現在より増加するよう努めるべき	人口維持を目指すべき	減少に歯止めをかけるべき	人口減少はやむを得ない	その他	
年齢	~20歳未満	11	36	33	16	-	96
		11.5	37.5	34.4	16.7	-	100.0
	20歳~64歳	36	50	59	20	2	167
		21.6	29.9	35.3	12.0	1.2	100.0
	65歳~75歳以上	6	2	4	7	1	20
	30.0	10.0	20.0	35.0	5.0	100.0	
	全体	53	88	96	43	3	283
		18.7	31.1	33.9	15.2	1.1	100.0

上段:度数		2-2 人口減少について考えに近いもの					合計
下段:%		現在より増加するよう努めるべき	人口維持を目指すべき	減少に歯止めをかけるべき	人口減少はやむを得ない	その他	
地区	水戸市内	39	48	57	29	2	175
		22.3	27.4	32.6	16.6	1.1	100.0
	水戸市外	12	40	37	14	1	104
		11.5	38.5	35.6	13.5	1.0	100.0
	全体	51	88	94	43	3	279
		18.3	31.5	33.7	15.4	1.1	100.0

上段:度数		2-2 人口減少について考えに近いもの					合計
下段:%		現在より増加するよう努めるべき	人口維持を目指すべき	減少に歯止めをかけるべき	人口減少はやむを得ない	その他	
子どもの有無	いる	28	30	25	20	1	104
		26.9	28.8	24.0	19.2	1.0	100.0
	いない	24	59	71	23	2	179
		13.4	33.0	39.7	12.8	1.1	100.0
	全体	52	89	96	43	3	283
		18.4	31.4	33.9	15.2	1.1	100.0

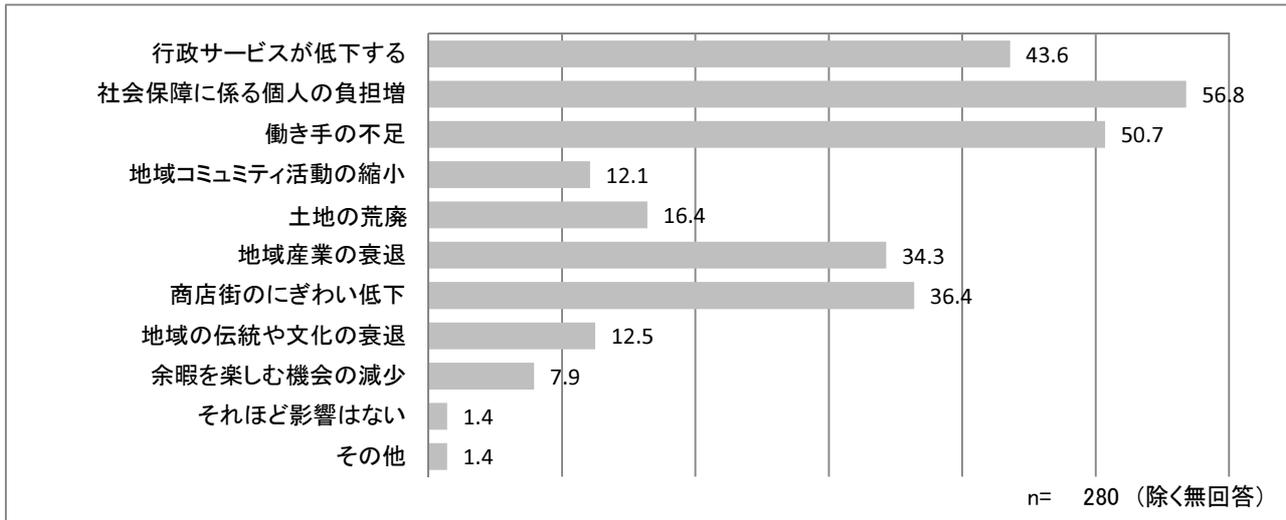
水戸市の人口減少に対する考え方は、「なるべく減少に歯止めをかけるべき」とする意見が全体の33.8%と最も多く、次いで「現在程度の人口維持を目指すべき」とする人が31.3%であった。「現在よりも増加するよう努めるべき」は18.7%、「人口減少はやむを得ない」が15.1%となっている。

一方、(大学生を概ね排除することができる分類である)「子どもがいる」層においては、「現在程度の人口維持を目指すべき」が28.8%と最も多く、次いで「現在よりも増加するよう努めるべき」が26.9%となっており、「子どもがいない」層と比較して前向きな意見が多いものの、一方で「人口減少はやむを得ない」とする人の割合も19.2%と多い。

### 1-3 人口減少によって不安に感じること（複数回答）

問3：水戸市の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、あなたが影響が大きいと考えることや不安に感じることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

#### 【単純集計】（M.A.）



#### 【クロス集計】（M.A.）

上段:度数 下段:%		2-3 人口減少が与える社会影響									
		行政サービスが低下する	社会保障に係る個人の負担増	働き手の不足	地域コミュニティ活動の縮小	土地の荒廃	地域産業の衰退	商店街のにぎわい低下	地域の伝統や文化の衰退	余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない
性別	男性	54 45.0	66 55.0	61 50.8	18 15.0	24 20.0	42 35.0	43 35.8	13 10.8	10 8.3	3 2.5
	女性	68 42.8	93 58.5	80 50.3	16 10.1	22 13.8	53 33.3	58 36.5	22 13.8	12 7.5	1 0.6
	全体	122 43.7	159 57.0	141 50.5	34 12.2	46 16.5	95 34.1	101 36.2	35 12.5	22 7.9	4 1.4

その他	合計
4	120
3.3	100.0
-	159
-	100.0
4	279
1.4	100.0

上段:度数 下段:%		2-3 人口減少が与える社会影響									
		行政サービスが低下する	社会保障に係る個人の負担増	働き手の不足	地域コミュニティ活動の縮小	土地の荒廃	地域産業の衰退	商店街のにぎわい低下	地域の伝統や文化の衰退	余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない
年齢	~20歳未満	36 37.1	49 50.5	50 51.5	13 13.4	10 10.3	32 33.0	27 27.8	17 17.5	9 9.3	2 2.1
	20歳~64歳	79 48.5	98 60.1	82 50.3	19 11.7	32 19.6	52 31.9	68 41.7	16 9.8	13 8.0	2 1.2
	65歳~75歳以上	7 36.8	12 63.2	9 47.4	2 10.5	4 21.1	11 57.9	6 31.6	2 10.5	-	-
	全体	122 43.7	159 57.0	141 50.5	34 12.2	46 16.5	95 34.1	101 36.2	35 12.5	22 7.9	4 1.4
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

その他	合計
-	97
-	100.0
3	163
1.8	100.0
1	19
5.3	100.0
4	279
1.4	100.0

上段:度数		2-3 人口減少が与える社会影響									
下段:%		行政サービスが低下する	社会保障に係る個人の負担増	働き手の不足	地域コミュニティ活動の縮小	土地の荒廃	地域産業の衰退	商店街のにぎわい低下	地域の伝統や文化の衰退	余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない
地区	水戸市内	79 46.5	103 60.6	85 50.0	19 11.2	31 18.2	61 35.9	67 39.4	14 8.2	10 5.9	2 1.2
	水戸市外	42 40.0	54 51.4	55 52.4	15 14.3	13 12.4	33 31.4	31 29.5	20 19.0	11 10.5	2 1.9
	全体	121 44.0	157 57.1	140 50.9	34 12.4	44 16.0	94 34.2	98 35.6	34 12.4	21 7.6	4 1.5

その他	合計
2	170
1.2	100.0
2	105
1.9	100.0
4	275
1.5	100.0

上段:度数		2-3 人口減少が与える社会影響									
下段:%		行政サービスが低下する	社会保障に係る個人の負担増	働き手の不足	地域コミュニティ活動の縮小	土地の荒廃	地域産業の衰退	商店街のにぎわい低下	地域の伝統や文化の衰退	余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない
子どもの有無	いる	53 52.5	64 63.4	48 47.5	14 13.9	22 21.8	35 34.7	39 38.6	11 10.9	4 4.0	2 2.0
	いない	68 38.2	94 52.8	94 52.8	20 11.2	24 13.5	60 33.7	63 35.4	24 13.5	18 10.1	2 1.1
	全体	121 43.4	158 56.6	142 50.9	34 12.2	46 16.5	95 34.1	102 36.6	35 12.5	22 7.9	4 1.4

その他	合計
1	101
1.0	100.0
3	178
1.7	100.0
4	279
1.4	100.0

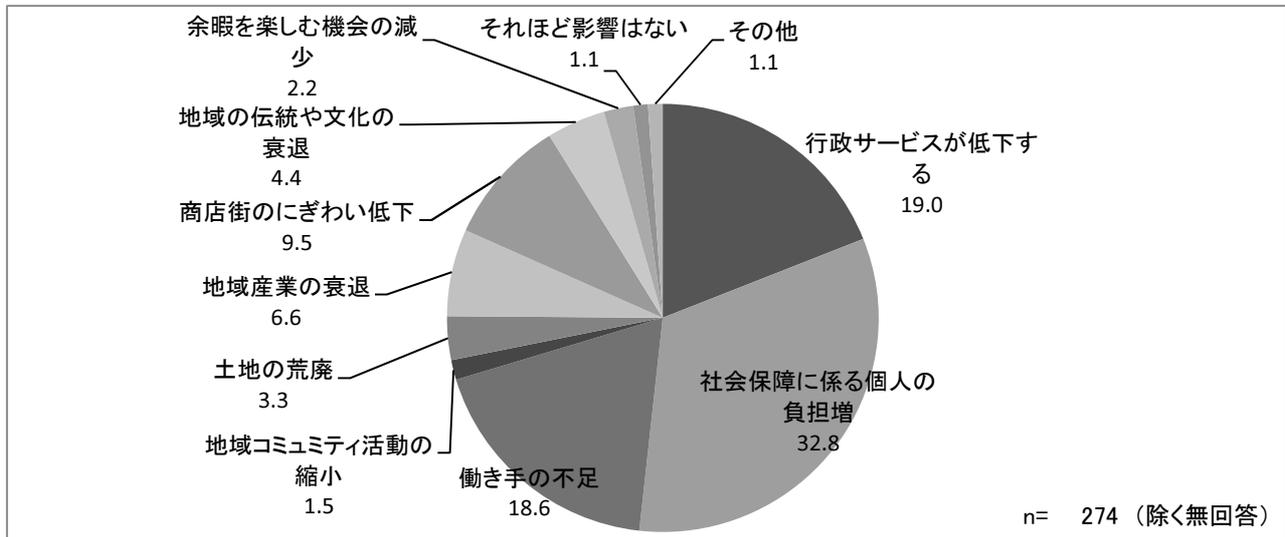
人口減少によって不安に感じることは、「年金の減額，社会保険料や医療費の増額など社会保障に係る個人の負担増」が56.8%と最も多く，次いで「若者など地域を支える担い手（働き手）の不足」（50.7%），「国や地方が税減収となり，行政サービスが低下する」（43.6%）となっている。

属性別の違いはあまりみられないが，（サンプル数が少ないものの）65歳以上の層で「労働力人口の減少などによる地域産業の衰退」を挙げる人が他と比較して多い。

## 1-4 人口減少によって特に不安に感じること

問4：問3で選んだもののうち、あなたが特に影響が大きいと考えること、不安に感じることは何ですか。1つだけ選び、番号を記入してください。

【単純集計】(S.A.)



【クロス集計】(S.A.)

上段:度数		2-4 特に影響が大きいと考えるもの									
下段:%		行政サービスが低下する	社会保障に係る個人の負担増	働き手の不足	地域コミュニティ活動の縮小	土地の荒廃	地域産業の衰退	商店街のにぎわい低下	地域の伝統や文化の衰退	余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない
性別	男性	22 19.0	33 28.4	25 21.6	2 1.7	4 3.4	7 6.0	13 11.2	4 3.4	1 0.9	3 2.6
	女性	30 19.0	57 36.1	26 16.5	2 1.3	5 3.2	11 7.0	13 8.2	8 5.1	5 3.2	-
	全体	52 19.0	90 32.8	51 18.6	4 1.5	9 3.3	18 6.6	26 9.5	12 4.4	6 2.2	3 1.1
	その他										
	合計										

上段:度数		2-4 特に影響が大きいと考えるもの									
下段:%		行政サービスが低下する	社会保障に係る個人の負担増	働き手の不足	地域コミュニティ活動の縮小	土地の荒廃	地域産業の衰退	商店街のにぎわい低下	地域の伝統や文化の衰退	余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない
年齢	~20歳未満	20 20.6	30 30.9	20 20.6	1 1.0	3 3.1	3 3.1	10 10.3	7 7.2	3 3.1	-
	20歳~64歳	31 19.1	57 35.2	28 17.3	3 1.9	4 2.5	11 6.8	15 9.3	5 3.1	3 1.9	2 1.2
	65歳~75歳以上	1 6.7	3 20.0	3 20.0	-	2 13.3	4 26.7	1 6.7	-	-	1 6.7
	全体	52 19.0	90 32.8	51 18.6	4 1.5	9 3.3	18 6.6	26 9.5	12 4.4	6 2.2	3 1.1
	その他										
	合計										

上段:度数		2-4 特に影響が大きいと考えるもの									
下段:%		行政サービスが低下する	社会保障に係る個人の負担増	働き手の不足	地域コミュニティ活動の縮小	土地の荒廃	地域産業の衰退	商店街のにぎわい低下	地域の伝統や文化の衰退	余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない
地区	水戸市内	33 20.0	54 32.7	30 18.2	3 1.8	7 4.2	13 7.9	14 8.5	4 2.4	2 1.2	3 1.8
	水戸市外	19 18.1	35 33.3	20 19.0	1 1.0	2 1.9	4 3.8	11 10.5	8 7.6	4 3.8	-
	全体	52 19.3	89 33.0	50 18.5	4 1.5	9 3.3	17 6.3	25 9.3	12 4.4	6 2.2	3 1.1

その他	合計
2	165
1.2	100.0
1	105
1.0	100.0
3	270
1.1	100.0

上段:度数		2-4 特に影響が大きいと考えるもの									
下段:%		行政サービスが低下する	社会保障に係る個人の負担増	働き手の不足	地域コミュニティ活動の縮小	土地の荒廃	地域産業の衰退	商店街のにぎわい低下	地域の伝統や文化の衰退	余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない
子どもの有無	いる	16 16.5	33 34.0	18 18.6	3 3.1	5 5.2	7 7.2	8 8.2	2 2.1	1 1.0	3 3.1
	いない	36 20.5	56 31.8	33 18.8	1 0.6	4 2.3	11 6.3	18 10.2	10 5.7	5 2.8	-
	全体	52 19.0	89 32.6	51 18.7	4 1.5	9 3.3	18 6.6	26 9.5	12 4.4	6 2.2	3 1.1

その他	合計
1	97
1.0	100.0
2	176
1.1	100.0
3	273
1.1	100.0

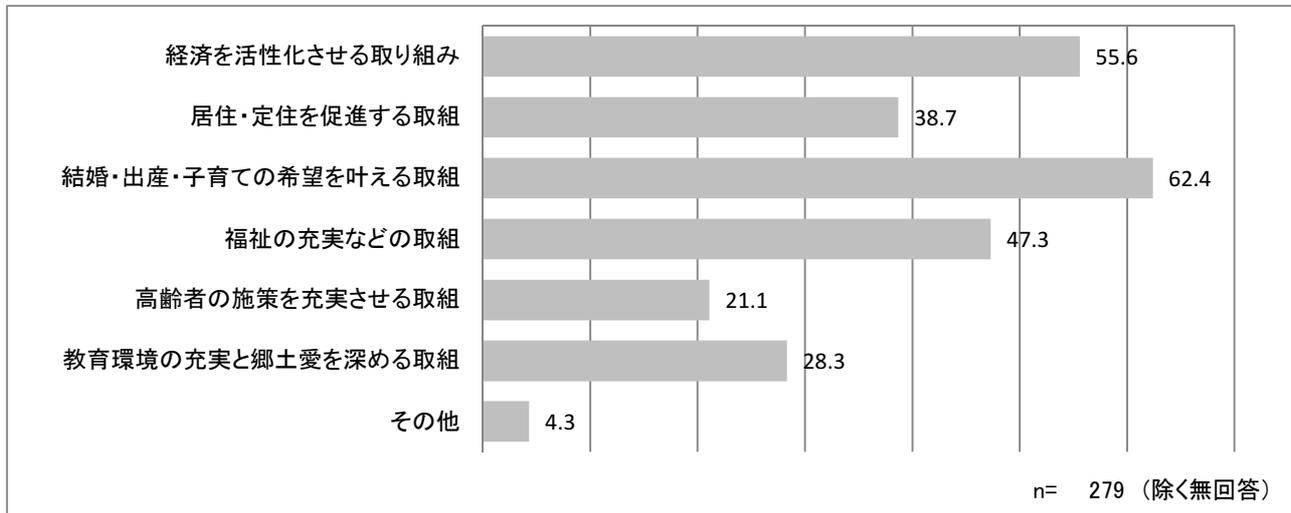
人口減少によって特に不安に感じることは、「年金の減額，社会保険料や医療費の増額など社会保障に係る個人の負担増」が32.8%と最も多く，次いで「国や地方が税減収となり，行政サービスが低下する」(19.0%)，「若者など地域を支える担い手（働き手）の不足」(18.6%)となっている。

属性別の違いはほとんどみられないが，（サンプル数が少ないものの）65歳以上の層で「労働力人口の減少などによる地域産業の衰退」を挙げる人が他と比較して多い。

## 1-5 水戸市が取り組むべきこと

問5：人口減少を克服し、活力ある社会を目指して、水戸市が今後取り組むべきことについて、最も重視すべきことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

【単純集計】(M.A.)



【クロス集計】(M.A.)

上段:度数		2-5 水戸市が今後取り組むべきこと							
下段:%		経済を活性化させる取組み	居住・定住を促進する取組	結婚・出産・子育ての希望を叶える取組	福祉の充実などの取組	高齢者の施策を充実させる取組	教育環境の充実と郷土愛を深める取組	その他	合計
性別	男性	69 58.5	46 39.0	74 62.7	54 45.8	17 14.4	39 33.1	10 8.5	118 100.0
	女性	85 53.1	62 38.8	100 62.5	78 48.8	41 25.6	40 25.0	2 1.3	160 100.0
	全体	154 55.4	108 38.8	174 62.6	132 47.5	58 20.9	79 28.4	12 4.3	278 100.0
年齢	～20歳未満	47 48.5	37 38.1	50 51.5	41 42.3	26 26.8	23 23.7	2 2.1	97 100.0
	20歳～64歳	95 58.3	66 40.5	113 69.3	81 49.7	29 17.8	47 28.8	9 5.5	163 100.0
	65歳～75歳以上	12 66.7	5 27.8	11 61.1	10 55.6	3 16.7	9 50.0	1 5.6	18 100.0
	全体	154 55.4	108 38.8	174 62.6	132 47.5	58 20.9	79 28.4	12 4.3	278 100.0
地区	水戸市内	95 56.2	66 39.1	120 71.0	83 49.1	29 17.2	54 32.0	8 4.7	169 100.0
	水戸市外	56 53.3	40 38.1	51 48.6	47 44.8	30 28.6	25 23.8	4 3.8	105 100.0
	全体	151 55.1	106 38.7	171 62.4	130 47.4	59 21.5	79 28.8	12 4.4	274 100.0
子どもの有無	いる	58 58.0	44 44.0	69 69.0	53 53.0	16 16.0	37 37.0	6 6.0	100 100.0
	いない	96 53.9	64 36.0	104 58.4	79 44.4	43 24.2	41 23.0	6 3.4	178 100.0
	全体	154 55.4	108 38.8	173 62.2	132 47.5	59 21.2	78 28.1	12 4.3	278 100.0

人口減少を克服し、活力ある社会を目指して、水戸市が今後取り組むべきことについては、「子育て支援や仕事と家庭の両立の充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が最も多く62.4%、次いで「産業を振興し、雇用を拡大させて経済を活性化させる取組」(55.6%)、「地域特性を生かした魅力づくりや福祉の充実など、人口減少社会の中でも安心して暮らせる地域を目指す取組」(47.3%)となっている。

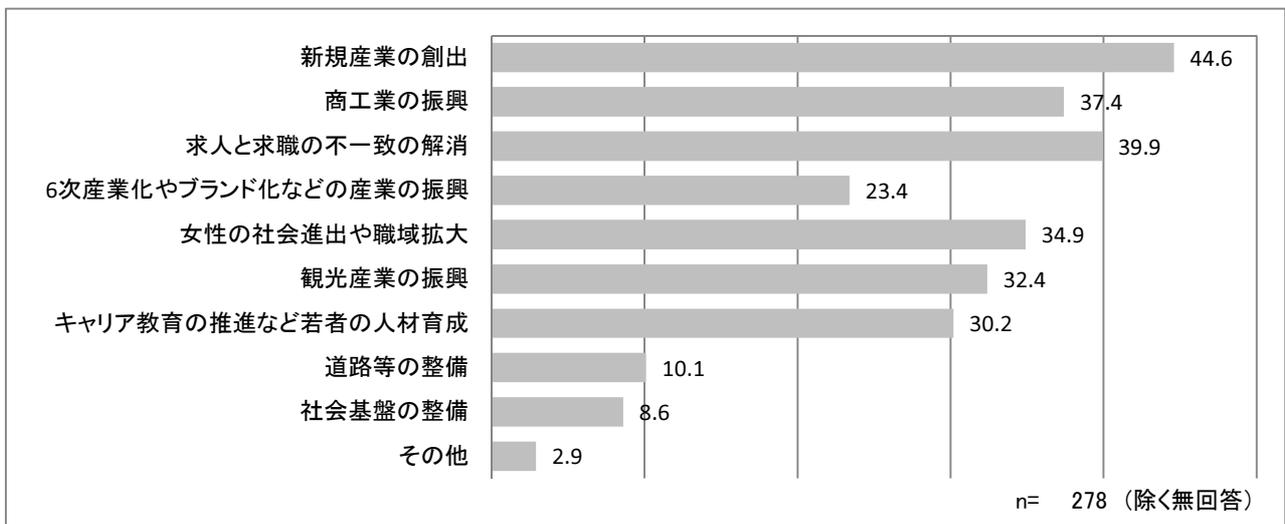
際立った属性別の違いはみられない。

## 2 人口減少への具体的な対応策

### 2-1 産業振興のために取り組むべきこと

問6：人口が減少すると、各産業における労働力の不足や生産量の低下を招くなど、地域経済に大きな影響をもたらすおそれがあります。地域経済の活性化を図っていくために、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

【単純集計】(M.A.)



【クロス集計】(M.A.)

上段:度数		3-6 人口減少への具体的な取組(対応策)									
下段:%		新規産業の創出	商工業の振興	求人と求職の不一致の解消	6次産業化やブランド化などの産業の振興	女性の社会進出や職域拡大	観光産業の振興	キャリア教育の推進など若者の人材育成	道路等の整備	社会基盤の整備	その他
性別	男性	59	42	40	38	34	47	33	15	13	7
		49.6	35.3	33.6	31.9	28.6	39.5	27.7	12.6	10.9	5.9
	女性	65	62	70	26	63	43	51	13	11	1
		41.1	39.2	44.3	16.5	39.9	27.2	32.3	8.2	7.0	0.6
	全体	124	104	110	64	97	90	84	28	24	8
		44.8	37.5	39.7	23.1	35.0	32.5	30.3	10.1	8.7	2.9
合計											
119											
100.0											
158											
100.0											
277											
100.0											

上段:度数		3-6 人口減少への具体的な取組(対応策)									
下段:%		新規産業の創出	商工業の振興	求人と求職の不一致の解消	6次産業化やブランド化などの産業の振興	女性の社会進出や職域拡大	観光産業の振興	キャリア教育の推進など若者の人材育成	道路等の整備	社会基盤の整備	その他
年齢	～20歳未満	33 34.0	38 39.2	39 40.2	8 8.2	37 38.1	26 26.8	31 32.0	11 11.3	10 10.3	- -
	20歳～64歳	81 50.0	59 36.4	67 41.4	49 30.2	51 31.5	58 35.8	49 30.2	15 9.3	11 6.8	6 3.7
	65歳～75歳以上	10 55.6	7 38.9	4 22.2	7 38.9	9 50.0	6 33.3	4 22.2	2 11.1	3 16.7	2 11.1
	全体	124 44.8	104 37.5	110 39.7	64 23.1	97 35.0	90 32.5	84 30.3	28 10.1	24 8.7	8 2.9
	合計										

上段:度数		3-6 人口減少への具体的な取組(対応策)									
下段:%		新規産業の創出	商工業の振興	求人と求職の不一致の解消	6次産業化やブランド化などの産業の振興	女性の社会進出や職域拡大	観光産業の振興	キャリア教育の推進など若者の人材育成	道路等の整備	社会基盤の整備	その他
地区	水戸市内	82 48.5	57 33.7	62 36.7	55 32.5	55 32.5	65 38.5	48 28.4	17 10.1	11 6.5	6 3.6
	水戸市外	41 39.4	43 41.3	44 42.3	9 8.7	42 40.4	23 22.1	36 34.6	11 10.6	13 12.5	2 1.9
	全体	123 45.1	100 36.6	106 38.8	64 23.4	97 35.5	88 32.2	84 30.8	28 10.3	24 8.8	8 2.9
	合計										

上段:度数		3-6 人口減少への具体的な取組(対応策)									
下段:%		新規産業の創出	商工業の振興	求人と求職の不一致の解消	6次産業化やブランド化などの産業の振興	女性の社会進出や職域拡大	観光産業の振興	キャリア教育の推進など若者の人材育成	道路等の整備	社会基盤の整備	その他
子どもの有無	いる	55 54.5	36 35.6	30 29.7	33 32.7	31 30.7	42 41.6	32 31.7	12 11.9	8 7.9	6 5.9
	いない	69 39.2	67 38.1	80 45.5	32 18.2	66 37.5	48 27.3	52 29.5	16 9.1	15 8.5	2 1.1
	全体	124 44.8	103 37.2	110 39.7	65 23.5	97 35.0	90 32.5	84 30.3	28 10.1	23 8.3	8 2.9
	合計										

地域経済活性化のための取組については、「企業誘致，起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が最も多く 44.6%，次いで「正規雇用の拡大や求人と求職の不一致の解消」（39.9%），「生産性向上や新たな顧客の確保や販売の拡大の支援などによる商工業の振興」（37.4%）となっている。

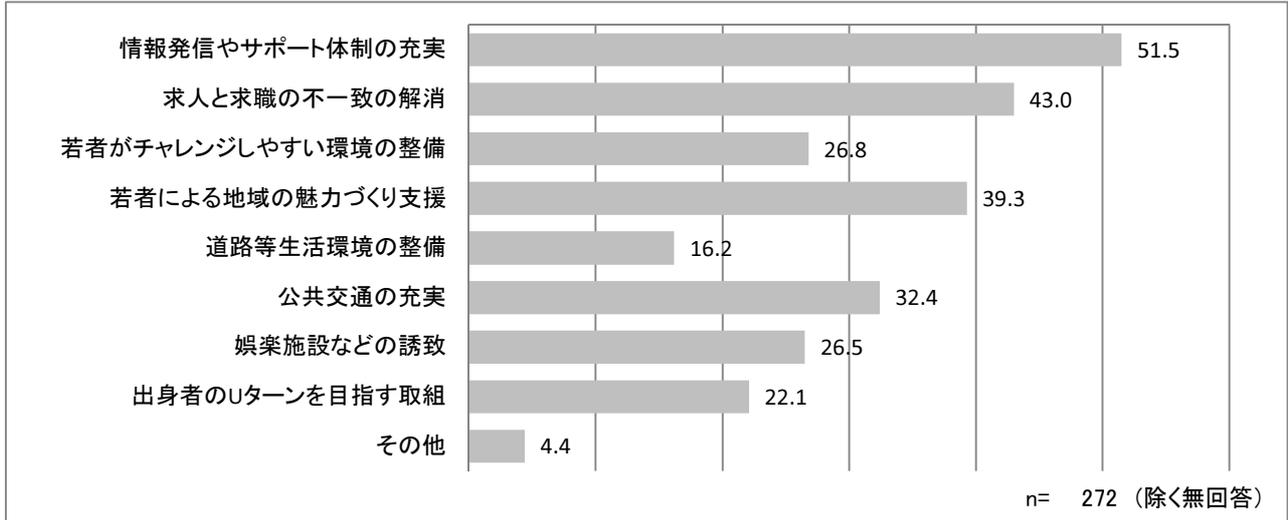
「求人と求職の不一致の解消」（39.9%），「女性の社会進出や職域拡大などの女性の活躍促進」（34.9%）については，サンプルに多く含まれている市外在住の女子大生の意見を反映しているものとみられる。

一方，（大学生を概ね排除することができる分類である）「子どもがいる」層においては，「新規産業の創出」が 54.5%と最も多く，次いで「本市ならではの歴史・文化，豊かな自然などを生かした観光産業の振興」（41.6%），「商工業の振興」（35.6%）となっている。

## 2-2 転出等による人口減への対策

問7：転出等による人口減への対策として、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。  
次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

### 【単純集計】(M.A.)



### 【クロス集計】(M.A.)

上段:度数		3-7 転出等による人口減の対策									
下段:%		情報発信やサポート体制の充実	求人と求職の不一致の解消	若者がチャレンジしやすい環境の整備	若者による地域の魅力づくり支援	道路等生活環境の整備	公共交通の充実	娯楽施設などの誘致	出身者のUターンを目指す取組	その他	合計
性別	男性	57 47.9	50 42.0	32 26.9	49 41.2	21 17.6	39 32.8	32 26.9	31 26.1	8 6.7	119 100.0
	女性	82 53.9	66 43.4	41 27.0	58 38.2	23 15.1	49 32.2	40 26.3	29 19.1	4 2.6	152 100.0
	全体	139 51.3	116 42.8	73 26.9	107 39.5	44 16.2	88 32.5	72 26.6	60 22.1	12 4.4	271 100.0

上段:度数		3-7 転出等による人口減の対策									
下段:%		情報発信やサポート体制の充実	求人と求職の不一致の解消	若者がチャレンジしやすい環境の整備	若者による地域の魅力づくり支援	道路等生活環境の整備	公共交通の充実	娯楽施設などの誘致	出身者のUターンを目指す取組	その他	合計
年齢	~20歳未満	47 49.0	35 36.5	20 20.8	31 32.3	22 22.9	34 35.4	30 31.3	16 16.7	2 2.1	96 100.0
	20歳~64歳	83 53.2	74 47.4	46 29.5	63 40.4	18 11.5	49 31.4	41 26.3	39 25.0	8 5.1	156 100.0
	65歳~75歳以上	9 47.4	7 36.8	7 36.8	13 68.4	4 21.1	5 26.3	1 5.3	5 26.3	2 10.5	19 100.0
	全体	139 51.3	116 42.8	73 26.9	107 39.5	44 16.2	88 32.5	72 26.6	60 22.1	12 4.4	271 100.0

上段:度数		3-7 転出等による人口減の対策									
下段:%		情報発信やサポート体制の充実	求人と求職の不一致の解消	若者がチャレンジしやすい環境の整備	若者による地域の魅力づくり支援	道路等生活環境の整備	公共交通の充実	娯楽施設などの誘致	出身者のUターンを目指す取組	その他	合計
地区	水戸市内	83 50.6	71 43.3	47 28.7	70 42.7	23 14.0	54 32.9	34 20.7	43 26.2	10 6.1	164 100.0
	水戸市外	55 53.4	42 40.8	26 25.2	36 35.0	20 19.4	33 32.0	37 35.9	16 15.5	2 1.9	103 100.0
	全体	138 51.7	113 42.3	73 27.3	106 39.7	43 16.1	87 32.6	71 26.6	59 22.1	12 4.5	267 100.0

上段:度数		3-7 転出等による人口減の対策									
下段:%		情報発信やサポート体制の充実	求人と求職の不一致の解消	若者がチャレンジしやすい環境の整備	若者による地域の魅力づくり支援	道路等生活環境の整備	公共交通の充実	娯楽施設などの誘致	出身者のUターンを目指す取組	その他	合計
子どもの有無	いる	49 49.5	41 41.4	34 34.3	49 49.5	12 12.1	28 28.3	22 22.2	25 25.3	7 7.1	99 100.0
	いない	91 52.6	76 43.9	39 22.5	58 33.5	32 18.5	60 34.7	50 28.9	35 20.2	5 2.9	173 100.0
	全体	140 51.5	117 43.0	73 26.8	107 39.3	44 16.2	88 32.4	72 26.5	60 22.1	12 4.4	272 100.0

転出等による人口減への対策としては、「移住者、Uターン者などの増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」が最も多く 51.5%、次いで「正規雇用の拡大や求人と求職の不一致の解消」(43.0%)、「若者による地域の魅力づくり支援」(39.3%)となっている。

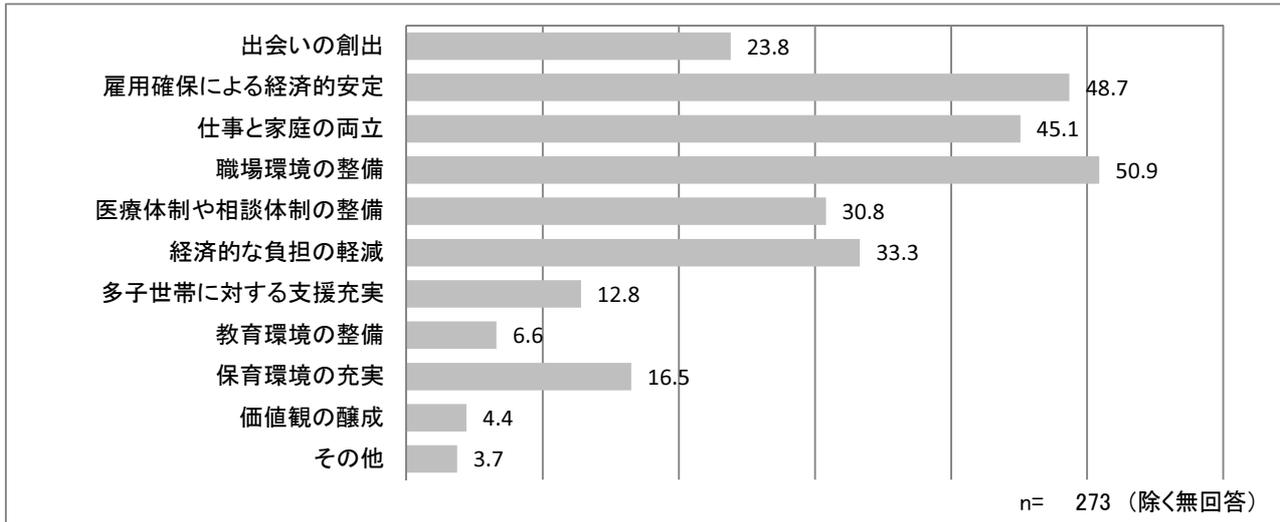
「20歳未満」の層においては、「公共交通の充実」が比較的多く、「水戸市外居住者」においては、「娯楽施設などの誘致等による地域のにぎわいづくり」が他と比較して多い。

一方、(大学生を概ね排除することができる分類である)「子どもがいる」層においては、「情報発信やサポート体制の充実」と並んで「若者による地域の魅力づくり支援」が多くなっている。

## 2-3 少子化対策

問8：結婚・出産・子育ての希望をかなえ少子化に歯止めをかけるため、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

【単純集計】（M.A.）



【クロス集計】（M.A.）

上段:度数		3-8 結婚・出産・子育ての取組										
下段:%		出合いの創出	雇用確保による経済的安定	仕事と家庭の両立	職場環境の整備	医療体制や相談体制の整備	経済的な負担の軽減	多子世帯に対する支援充実	教育環境の整備	保育環境の充実	価値観の醸成	
性別	男性	27 23.1	62 53.0	42 35.9	51 43.6	33 28.2	50 42.7	25 21.4	8 6.8	22 18.8	1 0.9	
	女性	38 24.7	69 44.8	81 52.6	87 56.5	49 31.8	41 26.6	10 6.5	10 6.5	23 14.9	11 7.1	
	全体	65 24.0	131 48.3	123 45.4	138 50.9	82 30.3	91 33.6	35 12.9	18 6.6	45 16.6	12 4.4	
	その他											1 117
	合計	8 6.8	117 100.0									2 154
		1.3 100.0										10 271
		3.7 100.0										

上段:度数		3-8 結婚・出産・子育ての取組										
下段:%		出合いの創出	雇用確保による経済的安定	仕事と家庭の両立	職場環境の整備	医療体制や相談体制の整備	経済的な負担の軽減	多子世帯に対する支援充実	教育環境の整備	保育環境の充実	価値観の醸成	
年齢	~20歳未満	23 23.7	42 43.3	48 49.5	57 58.8	38 39.2	26 26.8	10 10.3	5 5.2	5 5.2	1 1.0	
	20歳~64歳	40 25.6	76 48.7	70 44.9	72 46.2	39 25.0	57 36.5	22 14.1	12 7.7	36 23.1	9 5.8	
	65歳~75歳以上	2 11.1	13 72.2	5 27.8	9 50.0	5 27.8	8 44.4	3 16.7	1 5.6	4 22.2	2 11.1	
	全体	65 24.0	131 48.3	123 45.4	138 50.9	82 30.3	91 33.6	35 12.9	18 6.6	45 16.6	12 4.4	
	その他											1 97
	合計	- -	97 100.0									9 156
		5.8 100.0										1 18
		5.6 100.0										10 271
		3.7 100.0										

上段:度数		3-8 結婚・出産・子育ての取組									
下段:%		出会いの創出	雇用確保による経済的安定	仕事と家庭の両立	職場環境の整備	医療体制や相談体制の整備	経済的な負担の軽減	多子世帯に対する支援充実	教育環境の整備	保育環境の充実	価値観の醸成
地区	水戸市内	34 20.7	75 45.7	70 42.7	81 49.4	47 28.7	61 37.2	27 16.5	15 9.1	37 22.6	7 4.3
	水戸市外	29 27.9	55 52.9	52 50.0	56 53.8	34 32.7	28 26.9	8 7.7	3 2.9	8 7.7	5 4.8
	全体	63 23.5	130 48.5	122 45.5	137 51.1	81 30.2	89 33.2	35 13.1	18 6.7	45 16.8	12 4.5

その他	合計
7	164
4.3	100.0
3	104
2.9	100.0
10	268
3.7	100.0

上段:度数		3-8 結婚・出産・子育ての取組									
下段:%		出会いの創出	雇用確保による経済的安定	仕事と家庭の両立	職場環境の整備	医療体制や相談体制の整備	経済的な負担の軽減	多子世帯に対する支援充実	教育環境の整備	保育環境の充実	価値観の醸成
子どもの有無	いる	20 20.2	51 51.5	31 31.3	45 45.5	25 25.3	42 42.4	18 18.2	11 11.1	28 28.3	8 8.1
	いない	45 26.2	81 47.1	92 53.5	92 53.5	57 33.1	49 28.5	16 9.3	7 4.1	17 9.9	4 2.3
	全体	65 24.0	132 48.7	123 45.4	137 50.6	82 30.3	91 33.6	34 12.5	18 6.6	45 16.6	12 4.4

その他	合計
6	99
6.1	100.0
4	172
2.3	100.0
10	271
3.7	100.0

少子化対策の取組としては、「育児休業の取得や復職・再就職の支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」が最も多く 50.9%，次いで「若い世代の雇用確保などによる経済的安定」(48.7%)，「仕事と家庭の両立に向けた働き方の見直し」(45.1%)となっている。

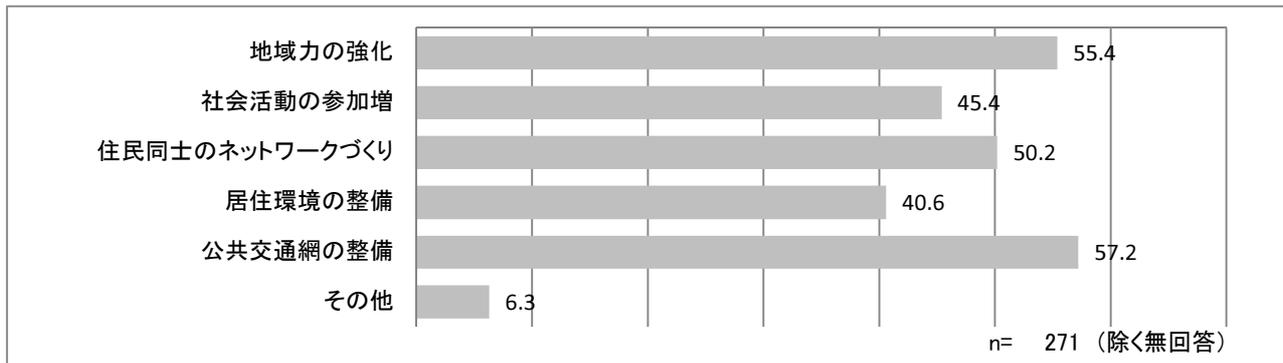
性別による違いは，男性においては「若い世代の雇用確保などによる経済的安定」(53.0%)に次いで「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減」(42.7%)が多く，経済的な側面を重視していることがわかる。一方，女性については，「育児休業の取得や復職・再就職の支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」(56.5%)に次いで「仕事と家庭の両立に向けた働き方の見直し」(52.6%)が多く，働き続けられる労働環境を求めていることがわかる。

一方，(大学生を概ね排除することができる分類である)「子どもがいる」層においては，「若い世代の雇用確保による経済的安定」(51.5%)，「育児休業の取得や復職・再就職の支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」(45.5%)，「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減」(42.4%)の順になっている。

## 2-4 安全安心に暮らせる地域づくりへの取組

問9：人口減少社会の中でも、安全・安心に暮らせる地域づくりを進めていくために、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

【単純集計】（M.A.）



【クロス集計】（M.A.）

上段:度数		3-9 安全・安心に暮らせる地域づくりのために						
下段:%		地域力の強化	社会活動の参加増	住民同士のネットワークづくり	居住環境の整備	公共交通網の整備	その他	合計
性別	男性	62	51	57	47	71	13	118
		52.5	43.2	48.3	39.8	60.2	11.0	100.0
	女性	88	72	79	62	83	4	152
		57.9	47.4	52.0	40.8	54.6	2.6	100.0
全体		150	123	136	109	154	17	270
		55.6	45.6	50.4	40.4	57.0	6.3	100.0

上段:度数		3-9 安全・安心に暮らせる地域づくりのために						
下段:%		地域力の強化	社会活動の参加増	住民同士のネットワークづくり	居住環境の整備	公共交通網の整備	その他	合計
年齢	～20歳未満	52	45	50	29	54	1	95
		54.7	47.4	52.6	30.5	56.8	1.1	100.0
	20歳～64歳	86	66	74	74	94	15	157
		54.8	42.0	47.1	47.1	59.9	9.6	100.0
	65歳～75歳以上	12	12	12	6	6	1	18
全体	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	5.6	100.0	
		150	123	136	109	154	17	270
		55.6	45.6	50.4	40.4	57.0	6.3	100.0

上段:度数		3-9 安全・安心に暮らせる地域づくりのために						
下段:%		地域力の強化	社会活動の参加増	住民同士のネットワークづくり	居住環境の整備	公共交通網の整備	その他	合計
地区	水戸市内	90	70	81	72	99	12	164
		54.9	42.7	49.4	43.9	60.4	7.3	100.0
	水戸市外	58	51	52	34	54	5	102
		56.9	50.0	51.0	33.3	52.9	4.9	100.0
全体		148	121	133	106	153	17	266
		55.6	45.5	50.0	39.8	57.5	6.4	100.0

上段:度数		3-9 安全・安心に暮らせる地域づくりのために						
下段:%		地域力の強化	社会活動の参加増	住民同士のネットワークづくり	居住環境の整備	公共交通網の整備	その他	合計
子どもの有無	いる	60	47	50	47	49	8	97
		61.9	48.5	51.5	48.5	50.5	8.2	100.0
	いない	89	76	86	62	105	9	173
		51.4	43.9	49.7	35.8	60.7	5.2	100.0
全体		149	123	136	109	154	17	270
		55.2	45.6	50.4	40.4	57.0	6.3	100.0

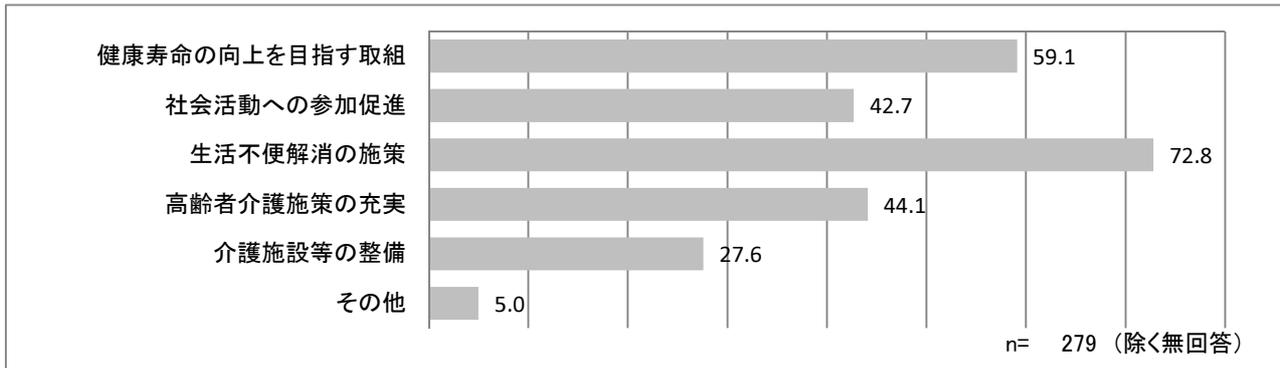
安全・安心に暮らせる地域づくりへの取組としては、「路線バスなどの公共交通網の整備」が最も多く 57.2%、次いで「自治会や地域コミュニティ活動の活性化などによる地域力の強化」(55.4%)、「地域の防災, 防犯, 治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」(50.2%) となっている。

この質問については、すべての項目がまんべんなく選ばれており、属性による際立った違いもあまりみられない。

## 2-5 高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組

問10：人口減少とともに、超高齢社会への対応として、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを進めていくために、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

### 【単純集計】(M.A.)



### 【クロス集計】(M.A.)

上段:度数		3-10 高齢者社会への対応について						
下段:%		健康寿命の向上を目指す取組	社会活動への参加促進	生活不便解消の施策	高齢者介護施策の充実	介護施設等の整備	その他	合計
性別	男性	69 57.5	57 47.5	85 70.8	51 42.5	37 30.8	10 8.3	120 100.0
	女性	96 60.8	62 39.2	117 74.1	72 45.6	40 25.3	3 1.9	158 100.0
	全体	165 59.4	119 42.8	202 72.7	123 44.2	77 27.7	13 4.7	278 100.0

上段:度数		3-10 高齢者社会への対応について						
下段:%		健康寿命の向上を目指す取組	社会活動への参加促進	生活不便解消の施策	高齢者介護施策の充実	介護施設等の整備	その他	合計
年齢	~20歳未満	51 52.6	34 35.1	65 67.0	47 48.5	27 27.8	2 2.1	97 100.0
	20歳~64歳	98 60.9	74 46.0	121 75.2	69 42.9	44 27.3	10 6.2	161 100.0
	65歳~75歳以上	16 80.0	11 55.0	16 80.0	7 35.0	6 30.0	1 5.0	20 100.0
	全体	165 59.4	119 42.8	202 72.7	123 44.2	77 27.7	13 4.7	278 100.0

上段:度数		3-10 高齢者社会への対応について						
下段:%		健康寿命の向上を目指す取組	社会活動への参加促進	生活不便解消の施策	高齢者介護施策の充実	介護施設等の整備	その他	合計
地区	水戸市内	103 60.2	80 46.8	129 75.4	75 43.9	46 26.9	10 5.8	171 100.0
	水戸市外	59 57.3	38 36.9	71 68.9	44 42.7	29 28.2	4 3.9	103 100.0
	全体	162 59.1	118 43.1	200 73.0	119 43.4	75 27.4	14 5.1	274 100.0

上段:度数		3-10 高齢者社会への対応について						
下段:%		健康寿命の向上を目指す取組	社会活動への参加促進	生活不便解消の施策	高齢者介護施策の充実	介護施設等の整備	その他	合計
子どもの有無	いる	67 65.0	55 53.4	73 70.9	42 40.8	29 28.2	7 6.8	103 100.0
	いない	97 55.4	64 36.6	129 73.7	81 46.3	48 27.4	7 4.0	175 100.0
	全体	164 59.0	119 42.8	202 72.7	123 44.2	77 27.7	14 5.0	278 100.0

高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組としては、「買い物・通院等が不便・困難な地域への移動支援など地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実」が最も多く72.8%、次いで「介護予防や認知症予防など健康寿命の向上を目指す取組」(59.1%)、「介護を必要とする高齢者への施策の充実」(44.1%)となっている。

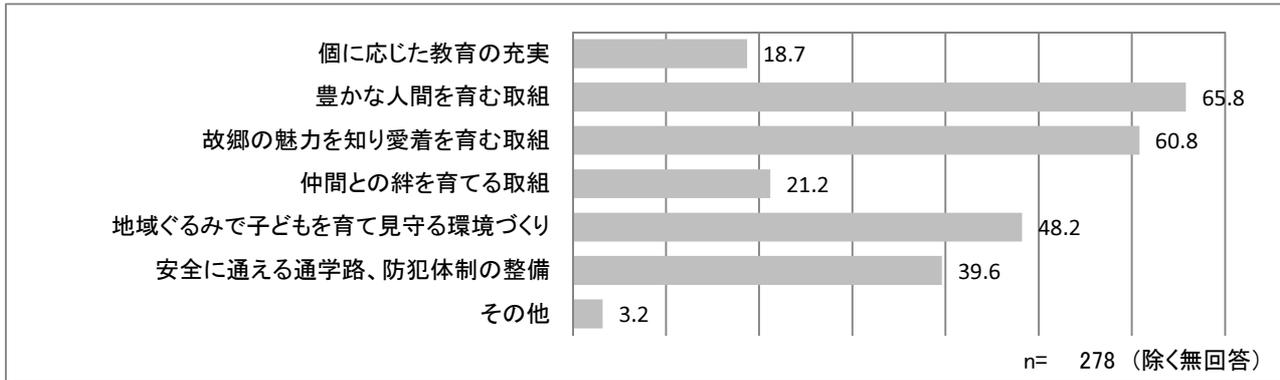
すべての属性において「生活不便解消の施策」が最も多く望まれている。

一方、(大学生を概ね排除することができる分類である)「子どもがいる」層においては、「高齢者の社会活動への参加促進」(53.4%)が他の属性と比較して多い。

## 2-6 子供たちの郷土愛を育む取組

問11：子どもたちの郷土水戸に対する理解と愛情を深めるため、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

【単純集計】(M.A.)



【クロス集計】(M.A.)

上段:度数		3-11 子どもたちの郷土愛を深めるために							
下段:%		個に応じた教育の充実	豊かな人間を育む取組	故郷の魅力を知り愛着を育む取組	仲間との絆を育てる取組	地域ぐるみで子どもを育て見守る環境づくり	安全に通える通学路、防犯体制の整備	その他	合計
性別	男性	22 18.5	75 63.0	79 66.4	26 21.8	53 44.5	45 37.8	8 6.7	119 100.0
	女性	30 19.0	107 67.7	89 56.3	33 20.9	80 50.6	65 41.1	1 0.6	158 100.0
	全体	52 18.8	182 65.7	168 60.6	59 21.3	133 48.0	110 39.7	9 3.2	277 100.0

上段:度数		3-11 子どもたちの郷土愛を深めるために							
下段:%		個に応じた教育の充実	豊かな人間を育む取組	故郷の魅力を知り愛着を育む取組	仲間との絆を育てる取組	地域ぐるみで子どもを育て見守る環境づくり	安全に通える通学路、防犯体制の整備	その他	合計
年齢	~20歳未満	21 21.6	59 60.8	57 58.8	21 21.6	42 43.3	38 39.2	-	97 100.0
	20歳~64歳	30 18.5	111 68.5	97 59.9	36 22.2	79 48.8	63 38.9	8 4.9	162 100.0
	65歳~75歳以上	1 5.6	12 66.7	14 77.8	2 11.1	12 66.7	9 50.0	1 5.6	18 100.0
	全体	52 18.8	182 65.7	168 60.6	59 21.3	133 48.0	110 39.7	9 3.2	277 100.0

上段:度数		3-11 子どもたちの郷土愛を深めるために							
下段:%		個に応じた教育の充実	豊かな人間を育む取組	故郷の魅力を知り愛着を育む取組	仲間との絆を育てる取組	地域ぐるみで子どもを育て見守る環境づくり	安全に通える通学路、防犯体制の整備	その他	合計
地区	水戸市内	31 18.3	114 67.5	103 60.9	35 20.7	86 50.9	65 38.5	6 3.6	169 100.0
	水戸市外	21 20.2	64 61.5	64 61.5	23 22.1	44 42.3	43 41.3	3 2.9	104 100.0
	全体	52 19.0	178 65.2	167 61.2	58 21.2	130 47.6	108 39.6	9 3.3	273 100.0

上段:度数		3-11 子どもたちの郷土愛を深めるために							
下段:%		個に応じた教育の充実	豊かな人間を育む取組	故郷の魅力を知り愛着を育む取組	仲間との絆を育てる取組	地域ぐるみで子どもを育て見守る環境づくり	安全に通える通学路、防犯体制の整備	その他	合計
子どもの有無	いる	20 19.8	72 71.3	61 60.4	23 22.8	52 51.5	39 38.6	5 5.0	101 100.0
	いない	32 18.2	110 62.5	107 60.8	36 20.5	82 46.6	70 39.8	4 2.3	176 100.0
	全体	52 18.8	182 65.7	168 60.6	59 21.3	134 48.4	109 39.4	9 3.2	277 100.0

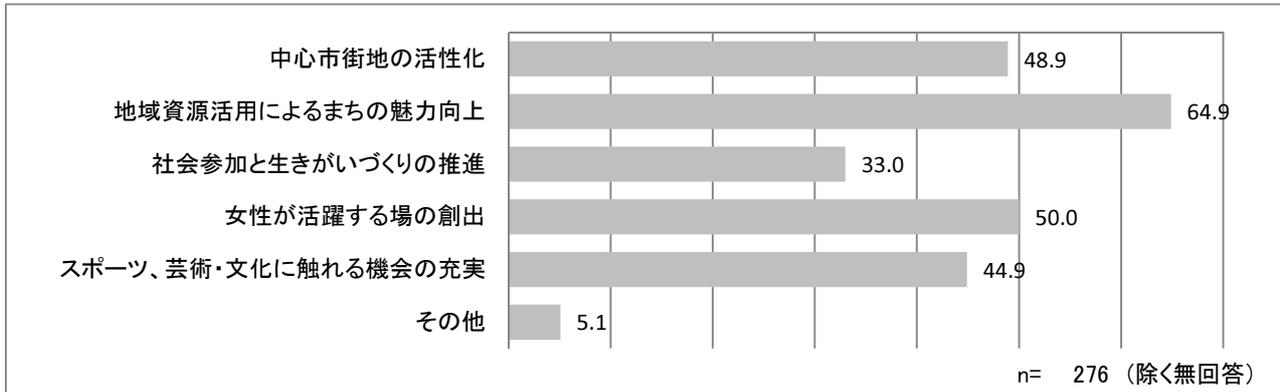
子供たちの郷土愛を育む取組としては、「体験活動や多くの人との交流により、豊かな人間性を育む取組」が65.8%と最も多い。次いで「地域を教材とした学習により、ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取組」(60.8%)、「地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境づくり」(48.2%)となっている。

属性による大きな違いはみられない。

## 2-7 地域の活性化やにぎわい創出のための取組

問12：地域の活性化やにぎわいの創出に向けて、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。（複数回答可）

【単純集計】(M.A.)



【クロス集計】(M.A.)

上段:度数		3-12 地域の活性化やにぎわい創出に向けての取組						
下段:%		中心市街地の活性化	地域資源活用によるまちの魅力向上	社会参加と生きがいつくりの推進	女性が活躍する場の創出	スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実	その他	合計
性別	男性	63 54.3	80 69.0	37 31.9	50 43.1	54 46.6	10 8.6	116 100.0
	女性	72 45.3	99 62.3	54 34.0	88 55.3	69 43.4	3 1.9	159 100.0
	全体	135 49.1	179 65.1	91 33.1	138 50.2	123 44.7	13 4.7	275 100.0

上段:度数		3-12 地域の活性化やにぎわい創出に向けての取組						
下段:%		中心市街地の活性化	地域資源活用によるまちの魅力向上	社会参加と生きがいつくりの推進	女性が活躍する場の創出	スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実	その他	合計
年齢	～20歳未満	37 38.1	60 61.9	37 38.1	49 50.5	38 39.2	-	97 100.0
	20歳～64歳	87 54.7	102 64.2	47 29.6	79 49.7	76 47.8	12 7.5	159 100.0
	65歳～75歳以上	11 57.9	17 89.5	7 36.8	10 52.6	9 47.4	1 5.3	19 100.0
	全体	135 49.1	179 65.1	91 33.1	138 50.2	123 44.7	13 4.7	275 100.0

上段:度数		3-12 地域の活性化やにぎわい創出に向けての取組						
下段:%		中心市街地の活性化	地域資源活用によるまちの魅力向上	社会参加と生きがいつくりの推進	女性が活躍する場の創出	スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実	その他	合計
地区	水戸市内	94 56.3	113 67.7	48 28.7	76 45.5	80 47.9	12 7.2	167 100.0
	水戸市外	39 37.5	62 59.6	41 39.4	59 56.7	42 40.4	2 1.9	104 100.0
	全体	133 49.1	175 64.6	89 32.8	135 49.8	122 45.0	14 5.2	271 100.0

上段:度数		3-12 地域の活性化やにぎわい創出に向けての取組						
下段:%		中心市街地の活性化	地域資源活用によるまちの魅力向上	社会参加と生きがいつくりの推進	女性が活躍する場の創出	スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実	その他	合計
子どもの有無	いる	56 57.1	71 72.4	31 31.6	47 48.0	50 51.0	4 4.1	98 100.0
	いない	78 44.1	107 60.5	59 33.3	91 51.4	74 41.8	10 5.6	177 100.0
	全体	134 48.7	178 64.7	90 32.7	138 50.2	124 45.1	14 5.1	275 100.0

地域の活性化やにぎわい創出のための取組としては、「水戸ならではの地域資源を生かしたまちづくりによるまちの魅力の向上」が64.9%と最も多い。次いで「仕事と家庭の両立による女性がいきいきと活躍できる場の創出」(50.0%)、「中心市街地の活性化」(48.9%)となっている。

(大学生を概ね排除することができる分類である)「子どもがいる」層においては、「スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実、活動の促進」(51.0%)が他の属性と比較してやや多い。

### 3 自由意見

#### 3-1 水戸市のこれからのまちづくりに対するご意見・ご提言

◎水戸市のこれからのまちづくりについて、ご意見、ご提言がありましたらお聞かせください。

##### ○水戸駅周辺の整備について

- 水戸駅北口からのバスの通りが寂しいような気がするので、お店などを充実させてほしいです。(旧カスミのところに何かお店が欲しいです。(20代/女性/その他))
- 中心地が県庁のある都市の駅前とは思えないほど閑散としています。行政的な手続きにしる、買い物にしる、娯楽にしる、車がないととても不便です。人口の割に、コンパクトでない。せめて駅前近辺くらいは車がなくても暮らせる、コンパクトな街づくりを目指していただきたいです。スポーツ施設はどこも混んでいるので、スポーツジム等を駅前の一つ作っていただきたい。あとはカスミやマルト、ヨークベニマルといった総合スーパーが一つほしいです。中心地に住んでいるのに、車で郊外まで買い物をしないといけないのは本当におかしいと思います。(30代/女性/三の丸)
- ひたちなか市のような コストコ、IKEA を呼んだりしてニーズに対応した魅力ある駅前作り(30代/女性/その他)
- 水戸駅北口側の地域活性化が必須だと思います。観光客はもちろん、地元の人も集まるような魅力ある街を作るためにどんなことが必要か、どんな取り組みが人を惹き付けるのか、市民みんなで考える機会があるといいと思います。(20代/男性/笠原)
- まず水戸駅北口再開発をしっかりやらないと、もう賑わいは戻らない。人を呼び戻すチャンスは今回のみです。(40代/男性/浜田)
- 茨城は広大な平野でどこにでも住めるため、全国11位の人口の割に大きな街がないことで分かっているはずなのに、水戸市も同じことをしている気がします。あれだけ立派な水戸駅があるのですから、中心市街地に商業施設や文化施設(本当ならば県庁もあそこにあるべきだったと思います)30年前の駅前を復活させて欲しい。=経済の活性化=人口減社会の歯止め=魅力ある街づくりに繋がるのではないかと(30代/男性/梅ヶ丘)
- 水戸市内(南町から泉町)の商店街に若者が集まる魅力ある企画(継続的なもの)(60代/女性/双葉台)
- 水戸駅の線路下に、南北が行き来できるトンネルのような道路を作っていただきたい。千波大橋か一高下まで迂回しないと南北の往来が出来ないことが、水戸駅周辺の衰退の原因だとおもいます。県庁所在地の駅にしては貧弱ですよね。あと、黄門さま道りの道幅も狭い。メイン通りには狭いです。(40代/女性/千波)
- 水戸駅周辺の衰退は悲しい。男性女性問わず若者が活躍するまちを目指してほしい。(20代/女性/その他)
- 中心市街地を活性化し、人が集まり多くの雇用が生まれるプラスのサイクルに移行するために、行政は明確な指針を示さなければならない。そのためには犠牲となる部分が生じ、反対意見も当然ある。たとえ失敗することになっても、市長とともに決断し行動することが求められる。(20代/男性/その他)
- 再開発をしたり施設を新しく作るのではなく、既存の物を再利用したり生かしたコンパクトシティを目指して欲しいと思います。(30代/男性/堀原)

##### ○公共交通・自転車について

- 水戸市内(南町から泉町)の公共の交通機関を便利にしないと駐車場の問題が解決できない。(60代/女性/双葉台)
- 土日のバスの本数を増やしてほしいです。(20代/女性/その他)
- ひたちなか市のような手厚い交通配慮。100円バスも色々なところを走っています(30代/女性/その他)
- 車は運転できなくなる日が必ずきます。中心市街地の活性化とコンパクトシティ、それに伴う公共交通機関の充実。他市成功例を参考にしつつ、水戸という地理的歴史的資源を活用する。偕楽園→階段下からの誘導ではなく、表門前に土地を確保してバスロータリーを。偕楽園から西の谷そして駅まで導線を作る。駅からバス10分程までの場所にサッカー専用スタジアムを誘致。市街地飲食店やホテルにお金が落ちる仕組みを。(40代/男性/新荘)
- まずは、公共交通網の拡充として市内に路面電車を復活させて、さらに、余剰タクシーを利用した相乗りオンデマンドルートバスなどのクルマがないと生活できない都市から脱却するべきです。(40代/男性/笠原)
- 交通機関の充実が最も重要だと思います。(20歳未満/女性/その他)
- 公共交通が整っていないので、他の市町村のように市営バス(小型循環バス)があると生活が楽になります。(30代/男性/酒門)
- 公共交通で移動できる街づくり。(50代/男性/常磐)
- 黄門さま道りの道幅も狭い。メイン通りには狭いです。今更動かせないのかな。であれば、ヨーロッパのトラムのような路面電車にして、バスを減らしてみてもは。電気なのでエコだし静かだし。大昔も水戸に路面電車ありましたよね。また復活してみてもは?とおもいます。あまりにもバスが多すぎます。(40代/女性/千波)
- 例えば水戸の現在の交通事情は、市内から放射状に東西南北に向かっているだけ。これでは交通手段が限られてる者にとっては非常に不自由です。隣接の市町でも行われているような市営(委託も可)のバスを走らせる等をしてもらいたい。(50代/男性/稲荷第一)

- 道交法改正により自転車の危険運転防止が強化されましたが、道路（路肩）が整備されていないところを通ることができません。安全に自転車が乗れるようにしてほしい。また、道路の段差が水戸は多くタイヤのパンクが心配です。・物流が県南の方に集中してしまう、インターネットの普及もあります、欲しいものが県央で購入できないことがあります。・県庁所在地なのに、駅周辺が活性化していない。・大工町開発で作られたトモス水戸を有効利用できないものか？・水戸駅の北口と南口を自転車で安全に行き来できるようにしてほしい。(40代/男性/千波)

## ○住環境・都市計画見直しについて

- 市民、民間、専門家の意見を多く取り入れ、実情にあった街づくり、都市計画を。市主導の再開発はどれも失敗している印象しかありません。素人目にも、それ無理でしょう、無駄になるでしょうと思えるものが実施されて、実際失敗にしか見えない結果になっているような。赤塚駅北口や大工町、水戸駅南口など。(40代/女性/五軒)
- 郊外へ住宅団地等が広がり続ける現行の都市計画の見直し(50代/男性/見川)
- 人口減少が日本の流れなら、それに逆らうことより、少ない人口でも生き生きと幸せに暮らせるまちづくりを目指すべきではないでしょうか。そんなまちがたくさんあります(50代/男性/寿)
- 日本全国で人口減少する中で、水戸 vs ひたちなかのような地方の弱小都市同士で争うような事は共倒れを招くので各市町村の役割分担を明確にしたまちづくりを行うべき。郊外型店舗のラインナップはひたちなかに譲って水戸は学問の街として教育に力点を置き、周辺市町村のベッドタウンとする策に特化した方が良いと思う。(30代/男性/吉田)
- 水戸市の地理を考えて将来を見て街づくりが重要。企業誘致、大学及び研究機関の誘致等により活性化して活力する行政が必要であり、住民の活性化をすること、県庁所在市としての職員の活性化、および住民の生きがいのための前向きな町づくりを行うことにより人口減少を防ぐこと。テーマパークも必要、地方飛行場を活用した地域づくりによる交流人口増加も図る事大重要。(70代/男性/山根)
- 学生が東京や地方都市と比べたときに、魅力を感じられるような空間（優雅な公園・若者向けファッションブランド街・おしゃれなカフェ等）と、昔から変わらない空間の共存が理想かな、と思います。まとまらない意見になっていまいましたが、率直な意見です。(20代/男性/その他)

## ○県庁周辺整備について

- 県庁周辺の活性化を水戸市も積極的に関与し、県と一緒に水戸市全体の人口増につなげる必要がある。中心街と、県庁周辺は、水戸市の将来を担っていると言っても過言ではない。しかし、県庁移転の負の要素ばかりが先行し、正の方向に誘導していない水戸市がある。中心街も大事だが、21世紀の水戸市を重要と考えるなら、もっと、県庁周辺地区の活性化も視野に、区画整理などのまちづくりを進めることで、住みやすい水戸市、求心力のある水戸市を作るべきである。(40代/男性/笠原)

## ○郊外地区の活性化について

- 北部にも郊外型シママラ、スーパーを入れたショッピングセンターが欲しい！(30代/女性/その他)
- 大型ショッピング施設もいいかも知れませんが、内原地区は農業で豊かに栄えて欲しかった。郊外店舗は車社会を促進しているだけではないでしょうか。(30代/男性/梅ヶ丘)
- 旧内原、常澄地区の活性化。(50代/男性/常磐)

## ○雇用創出について

- 偕楽園駅の臨時を止めて整備し雇用促進する。(40代/男性/吉沢)
- Uターンで水戸に居住したいと考えている方達に安心して就職先が見つかるようなアピールをして欲しい。今も現実に行っているかもしれませんが、それが見えていない。それが目に見えるようなアピールが大切だと思う。又、Uターンの方には、低料金で、1年間位住めるアパートがあると良いと思う。(50代/女性/その他)
- 若者が結婚して住みやすい水戸市は、正規雇用の促進（経済的安定）、教育における経済的負担の軽減等を実施し子供の育てやすい環境をつくる。(60代/男性/見川)
- 就職を機に若者が集まるまちにしたい。(20代/女性/その他)
- まずは県外に進学した若者が就職するタイミングで水戸市を選択してもらわなければ、人口減は防げないでしょうから、ここが最重要課題だと思います。雇用の創出も絶対(20代/男性/その他)

## ○観光振興・地域資源活用について

- 水戸の歴史や魅力をもっと県外にアピールし、住みたいと思えるまちづくりを期待します。(40代/男性/千波)
- 水戸ならではの資源を活かし、市民一人一人が魅力発信できるような環境を創出していただきたいです。(30代/女性/酒門)
- 水戸の豊かな自然を生かした町づくり、水戸徳川家の歴史や弘道館について、知識を広める。(60代/女性/双葉台)
- 町に魅力があれば人は残り、人は集まります。残念ながら、現状の水戸の町にはそれだけの魅力があるとは考えにくいというのが実態です。しかし、資源はあります。この資源をどう活かすかが重要と考えます。(60代/男性/笠原)
- 弘道館 大手門 等を使い、近代日本の成り立ちと水戸との関係を前面に打ち出した観光事業の展開(40代/男性/三の丸)
- 日本中で、観光客政策とか移住者政策とかやっているが、外から人を呼び込むのではなく、今、その場所に生きている人がもっと楽しく生きていけるようにし、自然と人が集まって来るようなまちになったらいいなと思う。(40代/女性/内原)

- 千波湖をもっと広告する(40代/男性/吉沢)
- 子どもたちに水戸の歴史を学んでもらい、故郷への誇りや自信を身につけて欲しい。(40代/女性/笠原)
- 水戸は徳川家だけではない古い歴史や世界第二位の都市内公園、自然に溢れる環境、高い品質の農畜産物、豊かな工業用水資源 など、恵まれた土地です。それらを将来活用するためにはどうするべきかを論じるべきです。(40代/男性/笠原)

## ○特産品について

- 納豆以外の特産品も紹介していったらよいと思う(20歳未満/女性/赤塚)
- 県外からの人から見ると茨城の特産がよく分からないのもっとアピールして行くべき(20歳未満/男性/その他)

## ○教育・福祉・医療について

- 保育園児が2名います。来年から小学生になります。水戸市は学童保育の時間が短く、来年からどのように対応しようか悩んでいます。ファミリーサポートセンターにも相談しましたが、私の地域には預かってくれる方がいないそうです。友人は学童保育の時間が長い東海村へ移住しました。(30代/女性/稲荷第二)
- 育休明けに保育園(認可)に入れず、3か月待機してやっと入れました。職場の理解があったので育休延長できましたが、そういう理解のない職場や非正規雇用の人だと仕事を辞めざるを得ないと思います。待機児童を減らす取り組みをもっと進めてください。また、病児預かりや学童施設の充実も進めてください。(30代/女性/緑岡)
- 人口減少や少子化、高齢化への対策には結局はお金が一番の対策だと思う。安定収入があり、それが続くことが見込めれば家庭や子供を持つと思うし、定住もしたいと思うだろう。子供が増え、介護職の賃金が十分生活できるだけの金額なら今後ますます増えるだろう介護施設の離職も減るだろう。定時退勤や有休取得が当たり前の社会なら、平日夕方や休日の過ごし方が変わり、地域が活性化するようににぎわいも戻ってくるだろう。箱物行政と言われないように、ボランティアや高齢者頼みの施策でなく、人にお金をかける施策を望みます。(40代/女性/見川)
- 既に取り組まれていることと思いますが「人口減少の克服」「学校教育の充実(特に小学校)」「健康づくりの推進」「高齢者福祉の充実」安全面として「防災機能の向上」が重要と考えます。(50代/男性/常磐)
- みんなの未来支援室のような発達に課題のある子への配慮ある福祉作り(30代/女性/その他)
- 今まで水戸中心市街地の活性にばかり多く税金をつぎ込んできたが効果が出ていない。箱物よりもっと子育てや若者に対し税金を使った方が良い。(50代/男性/下大野)
- 子供達が自由に生活をし将来水戸に残れる様に願います。(70代/男性/浜田)
- 早期に学童クラブなどを6年生まで対応できる整備を御願います。(40代/男性/緑岡)
- 少子高齢社会をつくった大人たち(団塊の世代以上、高齢者)に手厚い支援をする必要はない。若者につけが回らないまちにしてほしい。(20代/女性/その他)
- 実現可能なものから言えば、子どもに郷土愛を抱かせられる教育。(20代/男性/その他)
- 小児マルフクの所得制限撤廃をお願いします。水戸市の所得制限は、周辺市町村へ人口流出の一因と考えます。水戸は、単独で成り立っているわけではなく、周辺市町村と相互依存しているため、共存共栄がはかれる方策を考えるべき。(30代/男性/見川)

## ○コミュニティの充実について

- 水戸市はまちづくりが非常に下手だと思う。人が気軽に集まれる場所が街なかにはないから、中心街へ行こうとは思わない。駐車場だけの問題ではない。駅前の西武跡地は、市民が集える多目的広場や水戸の地域性・歴史を紹介する施設(水戸黄門ミュージアムとか)にすべき。大工町のみと楽横丁は良いとして、ホテル・ザ・ウェストヒルズとその隣の商業スペースはお粗末すぎる。箱だけ馬鹿でかくて何の魅力も感じられない。少なくともホテルの一階はオープンカフェにするとか、人が集まれるような雰囲気してほしいところ。とにかく今の水戸の街中は魅力がない。(40代/男性/河和田)
- 地区にもよりますが団塊世代が地域コミュニティ活動に参加しない傾向が見受けられます。自治会長や町内会長などを引き受ける方がいっしょらず、輪番制などで対応している地区が目立ち、1年足らずで交代のため地域活動への参加が希薄になっている現状があり、団塊世代以上の方々が、もっと積極的に地域活動に参加するよう促進して頂きたい。(40代/男性/緑岡)

## ○水戸のイメージ・危機意識

- 水戸の強みは何かと聞かれた時に即答出来る市民が少ないと感じる。そうした人を増やすための取り組みが必要ではないか。(30代/男性/双葉台)
- 今のままでは水戸は衰退するだけです。(50代/女性/常磐)
- 水戸サウスタワーからヤマダが撤退しました。あとは野となれ山となれではないでしょうか？民間に頼りきりでは水戸市は若い市民から見捨てられますよ？(20代/男性/新荘)
- 住む候補になっても選ばれていないのが実情。(30代/女性/石川)
- 現状では将来の衰退は明確。地域の根強い保守的な考えが、新しい街づくりを阻んでいる。(40代/男性/河和田)
- とにかく土地が高い、固定資産税が高い、だから家賃も高い。そのあたりがどうにかならなければ、もうちょっと出せば都内、都心近郊ってことになるのは避けられないと思う。東京は一時間に近づいてるし、子供を育てる街(学習・人・芸術文化・自然)という側面もあって困らないと思う。とはいえ、やはり田舎もん、ヤンキー、不良、暴走族のイメージからの脱却はなかなか難しいけれど。(40代/男性/五軒)
- このシステムに答えようとしても、時間切れになってしまいます。バカらしい、。水戸は、商都であり、いろいろ

な物や者が行き交う街が似合うのではないのでしょうか？全県のアンテナであればよいかと感じます。(40代/男性/渡里)

### ○環境問題について

- 水戸市はゴミが多い。(20歳未満/女性/双葉台)
- 車の騒音(マフラー, 音楽等), 夜の集団バイクの騒音(暴走族)の対応が不十分。うるさい。迷惑。寝れない。勝手すぎます。(20歳未満/女性/その他)
- エコ環境(40代/女性/その他)

### ○その他, 市政全般について

- 職員の対応や市長の対応をまず変えるべき。それができなければ水戸市はいい市とは言えない(20歳未満/男性/吉田)
- 施策と言うと, 施設の整備などハードウェアに金が廻るが, システムの動かし方・利用の仕方, などのソフトウェアに知恵と金を回すように留意すべき。(60代/男性/千波)
- ①アンケートの取り組みが漠然としていて, いかにも机上の案という感じです。これでは地方創生を期待出来るはずもありません。②選挙の時以外, 市長の姿を見たことがありません。トップは執務室で部下の報告を聞く前に, 自らの足で現場を歩き自らの耳で市民の声を聞き, 自らの目で見える市政が必要ではないのでしょうか?そのような姿勢が感じられないのは残念です。(50代/男性/見川)
- これからのまちづくり次第で水戸市の今後に大きく影響してくると思います。ぜひ市民の意見や思いをご理解いただき, 戦略作りの参考にしていただけますと幸いです。(30代/女性/三の丸)
- 行政がリードし, 地域住民と創るまちづくりを期待します。(20代/男性/渡里)
- 補助金に頼り産業を活性化するのではなく, 住んで良かったと思わせる街作りをお願いします。(30代/女性/石川)
- 若い世代がもっと台頭し, もっとチャレンジできる機会を(40代/男性/河和田)
- 地方創生は重要な取り組みですが, 市政が直接的にインフラ投資すると, 採算度外視した事業計画と天下り先の第3セクター作りに終わる。健全で自立可能な事業計画を目的に民間のインフラ投資ファンドを取り入れて欲しい。(40代/男性/三の丸)
- 地域にこだわり過ぎると同じ空気のループ。(40代/女性/三の丸)
- 現時点でつくばに勝てるものがあまり無いので, せいぜい汗掻いてくださいw(20歳未満/男性/その他)
- 自分に出来ることがあれば, 全力で取り組みたいと思ってます!(20代/男性/その他)
- 頑張った方が良い(30代/男性/その他)
- なし(20歳未満/男性/その他)



### Ⅲ 分析結果のまとめ



### 【人口減少に対する意識】

- ・若年層（本調査では概ね学生）においては、水戸市の人口が減少するという推計結果についての認知度は低いですが、その他の一般市民においては「知っている」「聞いたことがある」を合わせて7割以上に認知されている。
- ・人口減少に対する考え方については、子供がいる層の方が「現在よりも増加するよう努めるべき」「現在程度の人口を維持すべき」が多く、子供のいない層では「人口減少に歯止めをかけるべき」とのやや消極的な意見が目立つ。
- ・人口減少によって不安に感じることは、「社会保障に係る個人の負担増」が最も多く、次いで「若者など地域を支える担い手の不足」「行政サービスの低下」が挙げられている。
- ・今後、水戸市が取り組むべきこととしては、「子育て支援」が最も多く、次いで「経済を活性化する取組」、「福祉の充実」となっている。

### 【人口減少への具体的対応策】

- ・産業振興の取組みとしては、「企業誘致や起業促進などの新規の産業創出」が最も多く望まれており、次いで「正規雇用の拡大と求人・求職の不一致の解消」「商工業の振興」となっている。学生からは「女性の活躍促進」が、子どもがいる層からは「観光産業の振興」が多く挙げられている。
- ・人口減への対策としては、「移住者やUターン者への情報発信やサポート」が最も多く、次いで「求人・求職の不一致の解消」「若者による地域の魅力づくりの促進」が望まれている。また、若者からは「公共交通の充実」も求められている。
- ・少子化対策としては、「働き続けられる職場環境の整備」「若い世代の雇用確保による経済的安定」「仕事と家庭の両立に向けた働き方の見直し」となっている。また、男性及び子供がいる層においては「子育てに係る経済的支援」も多く望まれている。
- ・安全安心に暮らせる地域づくりの取組みとしては、「公共交通網の整備」「地域コミュニティの活性化などの地域力の強化」「防災等における住民同士のネットワークづくり」が挙げられている。
- ・高齢者が安心して暮らすためには、「買い物や通院など生活上の不便解消」「健康寿命の向上」が望まれている。子どもがいる層においては「高齢者の社会活動への参加促進」も挙げられている。
- ・子供たちの郷土愛を育むためには、「体験学習や人との交流により豊かな人間性を育む」「ふるさとの魅力を知り、愛着を育む」「地域ぐるみで子どもを育て見守る環境づくり」が挙げられている。
- ・地域の活性化に向けた取組としては、「地域資源を生かしたまちの魅力づくり」「女性が活躍できる場の創出」「中心市街地の活性化」が挙げられている。

### 【まとめ】

- ・本調査は web アンケートが主であるというサンプルの特性から、「市外在住の女子大生」と「市内在住でやや年齢層が若い水戸市民」の意見を強く反映しているものである。
- ・その中で、共通認識として「子育て支援」「経済活性化」「福祉の充実」が求められており、特に若い女性からは「働き続けられる職場環境の整備」が求められている。また、安心して子育てがができる経済的な安定を求める志向が強いこと、公共交通など利便性の確保が課題であることなどが確認された。
- ・これらの課題に対し、子育てしやすい魅力あるまちづくりに向けて、官民双方で取り組んでいくことが求められる。

## 資料編



## 1. アンケート調査票

### 水戸市 地方創生に関する市民アンケートへのご協力をお願い

水戸市では、訪れてみたい、住んでみたいと思われるような、選ばれる魅力あるまちをつくっていくため、実効性のある地方創生を目指した総合戦略及び人口ビジョンの策定を進めています。この調査は、地方創生に向けて、取り組むべき施策や取組の方向性を明らかにするため、幅広く市民の皆様様の御意見を伺うものです。

#### 1. あなたご自身についてお答えください。 ※記入例

(1)あなたの性別をお聞きます。

1. 男性  2. 女性

(2)あなたの年齢についてお聞きます。

1. 20歳未満  2. 20～24歳  3. 25～29歳  4. 30～34歳  
 5. 35～39歳  6. 40～44歳  7. 45～49歳  8. 50～54歳  
 9. 55～59歳  10. 60～64歳  11. 65～69歳  12. 70～74歳  
 13. 75歳以上

(3)あなたの職業についてお聞きます。次の中から1つだけ選んでください。

1. 有職・常勤(会社従業員等)  2. 有職・非常勤(パート、アルバイト等)  
 3. 自営業  4. 現在は働いていない  
 5. 学生  6. その他( )

(4)あなたのお住まいの地区(小学校区)についてお聞きます。次の中から1つだけ選んでください。

1. 三の丸  2. 五軒  3. 新荘  4. 城東  5. 浜田  6. 常磐  
 7. 緑岡  8. 寿  9. 上大野  10. 柳河  11. 渡里  12. 吉田  
 13. 酒門  14. 石川  15. 飯富  16. 国田  17. 河和田  18. 上中妻  
 19. 山根  20. 見川  21. 千波  22. 梅ヶ丘  23. 双葉台  24. 笠原  
 25. 赤塚  26. 吉沢  27. 堀原  28. 下大野  29. 稲荷第一  30. 稲荷第二  
 31. 大場  32. 内原  33. その他

(5)お子さんはいらっしゃいますか。次の中から1つだけ選んでください。また、いると答えた方は人数もお答えください。

1. いる ( \_\_\_\_人)  2. いない

#### 2. 人口減少に対する意識についてお聞きます。

問1: 水戸市の人口は、現在272,516人(H27.4.1現在)ですが、2040年(平成52年)には、244,344人に減少すると国立社会保障・人口問題研究所での推計結果が公表されています。あなたは、この推計結果を知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 知っている  2. なんとなく聞いたことがある  3. 知らなかった

問2: 水戸市の人口が将来的に減少していくことについて、あなたの考えに最も近いものは何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 現在より増加するよう努めるべき  2. 現在程度の人口維持を目指すべき  
 3. なるべく減少に歯止めをかけるべき  4. 人口減少はやむを得ない  
 5. その他( )



問7: 転出等による人口減への対策として、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1. 移住者、Uターン者などの増加に向けた情報発信やサポート体制の充実
- 2. 正規雇用の拡大や求人と求職の不一致の解消
- 3. 起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備
- 4. 若者による地域の魅力づくりの支援
- 5. 道路等や下水道など生活環境の整備
- 6. 公共交通の充実
- 7. 娯楽施設などの誘致等による地域のにぎわいづくり
- 8. ふるさとへの誇りと愛着の醸成等により出身者のUターンを目指す取組
- 9. その他( )

問8: 結婚・出産・子育ての希望をかなえず少子化に歯止めをかけるため、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1. 結婚につながる出会いの機会創出
- 2. 若い世代の雇用確保などによる経済的安定
- 3. 仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス等)に向けた働き方の見直し
- 4. 育児休業の取得や復職・再就職の支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備
- 5. 妊娠・出産・子育てに関する医療体制や相談体制の整備
- 6. 保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減
- 7. 多子世帯に対する支援の充実
- 8. 幼児教育や少人数学級などによる教育環境の整備
- 9. 病児・病後児保育や一時・休日保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実
- 10. 生命の大切さや家庭の大切さといった価値観の醸成
- 11. その他( )

問9: 人口減少社会の中でも、安全・安心に暮らせる地域づくりを進めていくために、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1. 自治会や地域コミュニティ活動の活性化などによる地域力の強化
- 2. 高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増
- 3. 地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり
- 4. 空き家対策や、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備
- 5. 路線バスなどの公共交通網の整備
- 6. その他( )

問10: 人口減少とともに、超高齢社会への対応として、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを進めていくために、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1. 介護予防や認知症予防など健康寿命(※3)の向上を目指す取組       2. 高齢者の社会活動への参加促進
3. 買い物・通院等が不便・困難な地域への移動支援など地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実
4. 介護を必要とする高齢者への施策の充実       5. 介護施設等の整備
6. その他( )

※3: 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

問11: 子どもたちの郷土水戸に対する理解と愛情を深めるため、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1. 個に応じた教育の充実       2. 体験活動や多くの人との交流により、豊かな人間性を育む取組
3. 地域を教材とした学習により、ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取組
4. 幼稚園から小中学校を通じた、仲間との絆を育てる取組       5. 地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境づくり
6. 子どもが安全に通える通学路、安全に遊べる公園や防犯体制の整備
7. その他( )

問12: 地域の活性化やにぎわいの創出に向けて、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1. 中心市街地の活性化       2. 水戸ならではの地域資源を生かしたまちづくりによるまちの魅力の向上
3. 多世代間の交流などによる高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進
4. 仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス等)による女性がいきいきと活躍できる場の創出
5. スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実、活動の促進
6. その他( )

4. 自由なご意見をお聞かせください。

◎水戸市のこれからのまちづくりについて、ご意見、ご提言がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ:水戸市 市長公室 政策企画課 政策審議室  
住所:〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号  
電話:(029)232-9104(直通)



地方創生に関する市民アンケート調査 報告書  
平成 27 年 8 月

発行／水戸市役所市長公室政策企画課政策審議室  
水戸市中央 1 丁目 4 番 1 号  
Tel (029) 224-1111  
調査協力／株式会社常陽産業研究所